

第三十一回帝國議會 院 戶籍法改正法律案外三件

(明治三十八年法律第六十二號中改正法律案  
寄留法案  
明治四十三年法律第三十九號中改正法律案)

委員會會議錄(速記)第四回

會議

大正三年三月二日午前十時四十三分開議

出席委員左ノ如シ

長島 鸞太郎君

石黒 磐君

齋藤 吉次君

麓 純義君

大日 喜六君

齋藤 隆夫君

荒川 五郎君

熊谷 直太君

野村 嘉六君

吉原 正隆君

島田 俊雄君

花井 卓藏君

早川 六三郎君

加瀬 禮逸君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 法學博士小山 溫君

司法省法務局  
長法學博士

鈴木喜三郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

司法省參事官 山内隆三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

戶籍法改正法律案

○委員長(長島鸞太郎君) ソレデハ開會致シマス

○野村嘉六君 此中途デ出マシテ申譯ガアリマセヌガ、極ク簡單ニ一二項ダケ伺ヒタ  
イノデスガ

○委員長(長島鸞太郎君) チョット御待チ下サイ、ソレナラバ皆サンニ御諮リ致シマシ  
テ

○法學博士花井卓藏君 委員長ニ伺ヒマスガ、質問ハ一章二章——三章ノ事柄ニ  
定メラレテ居ル以上ハ、分ラヌ點ガアツテモ問フコトハ出來ヌト云フ慣例ハ、委員會ノ規則  
ニナイ筈デアル

○委員長(長島鸞太郎君) サウニ云フコトハゴザイマセヌガ、大體委員會ガ質問ヲシテ一  
章二章ハ分ツタノデアルカラ、若シ殘ツタル處ガアレバ後トテ願ヒタイノデス

○法學博士花井卓藏君 缺席ヲシタ者ガ質問ヲシヤウト云フノニ、其質問權ヲ遮ルト  
云フ譯ハナイノデス

○委員長(長島鸞太郎君) イイ、遮ル譯デハナイノデゴザイマス

○法學博士花井卓藏君 法律ニ極メテ居ラヌノデ、斯ウ云フコトハ諮ルベキ性質ノモ  
ノデナイ

○委員長(長島鸞太郎君) 議事ノ進行ノ順序トシテ御諮リヲシテ、一章毎ニ極メテ  
ヤリマシタノデ、ソレデ御諮リスルト申シタノデスガ、敢テ質問ハ遮リマセヌ

○法學博士花井卓藏君 ソレデアレバ宜イ、若シ遮ルトスレバ戶籍法ヨリモト重大デ  
アル議權ヲ遮ルト云フノハ不都合千萬デヤ

○野村嘉六君 後トニ致シマス

○委員長(長島鸞太郎君) 此順序ヲ變ヘルナラバ皆サンニ御諮リシテカラ……

○法學博士花井卓藏君 併ナガラデス、三章ノ質問ヲスルニハ必然一章二章ニモ渡  
ラヌケレバナラヌ必要モ生ジマス

○委員長(長島鸞太郎君) ソレハ止ムヲ得マセヌ——第三章カラ初メマス、三章ニ付  
テノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 本章ノ改正シタル點ハ十八條ノ第三第四  
五デゴザイマスガ、是ハ現行法ノ百七十六條ニ該當スルノデゴザイマシテ、從來族籍ヲ記  
載致シマスニ付テ、華土族平民悉ク記載スルコトニナツテゴザイマスガ、華族土族ハ其數  
少ナク、平民ノ數ハ數多アリマスノニ、是モ繁文縟禮ノ趣旨カラ致シマシテ、華族土  
族ヲ書イテ、何モ書カヌ時ハ平民ト見ルト云フ處ノ趣意カラ致シマシテ、唯華族土族  
ダケノ族稱ヲ記載スルコトニ致シマシタ、但シ家族ト戸主ト族稱ヲ異ニスルコトガアリマ  
ス、戸主ガ華族ニシテ家族ガ平民デアリ、或ハ戸主ガ平民ニシテ家族ガ華族ト云フコト  
ガアリマス、サウニ云フヤウナ時ニ於テハヤハリ其戸主ト異ナル處ノ家族ノ族籍ヲ書クトシ  
テ、第四項ヲ設ケタ次第デアリマス、ソレカラ同上ノ十二ニ於キマシテ輔佐人ノ記載ヲナ  
スコトヲ規定シマシタ、是ハ準禁治產者ヲ表示スル譯ニナルノデス、準禁治產者ノ宣告  
ヲ受ケタト云フコトヲ半面ニ於テ表示スル爲メニ、ヤハリ後見ノ爲メニハ輔佐人ノ表示ヲ  
ナスコトニ改メマシタ、ソレカラ次ニ二十一一條デゴザイマスガ、此二十一一條ハ現行法ノ二  
十八條ニ該當スルノデゴザイマス、現行法ニ二十八條ト違ヒマス點ハ、居出人若クハ申  
請人ノ資格氏名ヲ戶籍ニ記載スル點デアリマス、即チ家主ガ居出タルカ或ハ出產ノ  
場合ニ於テ產婆ガ居出タルト云フコトニナツテ居リマスカラ、詰リ居出人ノ——申請人  
ノ其資格ヲ記載シテ置クト——以テ居出デノ資格ヲ記セシメンガ爲メニ此事ヲ記載致シ  
マシタ、ソレカラ次ハ二十三條デゴザイマス、此二十三條ハ現行法ノ百七十九條ニ該  
當スルモノデゴザイマシテ、此百七十九條ニ依リマスニ云フト、單ニ「家督相續或ハ家督  
相續回復ノ登記ヲナシタル時ハ」云々トアリマスガ、此以外ノ原因ニ依ツテ新戶籍ヲ編  
成スル場合ノ規定ガ無イノデアリマス、而シテ新戶籍ヲ編成スル場合ハ、單ニ家督相續  
若クハ家督相續回復バカリデアリマセヌ、或ハ隱居ガ無効トナル、隱居ガ取消トナル、  
失踪宣告ガ取消サレルト云フコトニナルト、ヤハリ戸主ニ變更ヲ成スベキ事柄ニナツテ、戶  
籍ヲ作り直サナケレバナラヌコトガアルノデアリマス、ソレ故ニ「其他戸主ノ變更ヲ生スヘキ  
事項ニ付キ」ト云フコトヲ加ヘタ次第デアリマス、次ニ同條第三項ノ「家督相續人ガ  
胎兒ナルトキハ其出生ノ記載ヲ爲スマテハ」云々、現行法ニ依リマスニ百七十九條ノ三  
項ニ於テ「出生ニ至ルマテ前二項ノ手續ヲ爲スヲ要セス」トナツテ居リマス、出生シテモ出  
生届ノ無イ場合モアリマスカラ、趣意ニ於キマシテハ出生届出アリエテ出生ノ記載ハアルノ  
デアリマスガ、文字トシテハ不完備デアリマスカラ、明カニ「出生ノ記載ヲ爲スマテハ」ト云  
フコトヲ規定シタ次第デアリマス、次ハ二十四條デゴザイマス、二十四條ノ二項三項ハ新  
タニ設ケマシタル規定デアリマシテ、是ハ復籍拒絶ヲ戶籍ニ登錄シテ、其登錄セラタル所  
ノ戶籍ニ依テ新戶籍ヲ作リマストキニ、御承知ノ通り戶籍カラ除カレテ戶籍ノ記載ヲ抹

消サレテアリマス云フト、新戸籍ヲ作リマストキニハ、其抹消シタル部分ハ新戸籍ニ移  
記シナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、トコロ此復籍拒絶ト云フ事柄ハ、何時マ  
デモ其復籍ヲ拒絶セラレタル者が存シテ居間、若クハ復籍拒絶ヲサレタル者が一家  
ヲ新立セヌ間ハ、何時マデモ此復籍拒絶ノ事柄ヲ知ルノ必要ガアルノデアリマス、例  
ハ家族ガ戸主ノ同意ヲ受ケズシテ嫁ニ行ツタ、嫁ニ行ツタカラ實家ノ戸籍ハ抹消サレテ居  
マス、ソコデ戸主ノ同意ヲ受ケズシテ嫁ニ行ツタカラ戸主ハ復籍拒絶ヲスル、其嫁サンガ  
生キテ居間ハ復籍拒絶ヲ戸籍法上殘シテ置ク必要ガアル、トコロガ現行法ニハ其規  
定ガアリマセヌカラ、假令新戸籍ヲ作ル場合デモ、ソレヲ新戸籍ノ方ヘ移記スルコトヲ要  
ス、ト云フコトヲ置キマシタ、併ナガラ唯今申シマス通り、其拒絶セラレタル者が死亡シ、若ク  
ハ一家ヲ創立致シタナラバ、最早復籍スルコト云フ問題ヲ生シマセヌカラ、其時ニハ別段先  
キノ新戸籍ニ移記スル必要ハ無イト云フ次第第二項ヲ設ケタ次第デアリマス、次ノ二十  
五條、是ハ現行法ニハアリマセヌ、詰マリ身分登記ト云フモノガ別ニアリマシタカラ現行  
法ニハ無カッタデアリマス、身分登記ヲ廢スル以上ハ、此條文ヲ設ケテ指定ノ届出ヲ  
明晰ニ規定スル必要ガアリマシタカラ設ケマシタ、ソレカラ二十六條モ新設ノ條文デゴ  
イマス、此二十六條ハ詰マリ一口ニ申シマセバ一瞬間タリトモ無籍者ハ拵ヘマイト云  
フ趣意カラ起ツタデアリマス、即チ除籍ノ届出ガアリ、或ハ廢家ニ因ル除籍ノ廢家届ガ  
アリマシタトキニ、未ダ其離籍セラレタル者若クハ廢家シタル者ガ、新タニ一家ヲ拵ヘル  
トカ、或ハ他ノ家ニ入ルト云フ手續ヲシナイ前ニ、今マデノ戸籍ヲ除クト云フコトニナリマス、  
戸籍面上或ル瞬間無籍者ヲ生ズルト云フコトガ起ツタ來マスカラ、入籍ノ手續ガアツ  
タ後ニ非ザレバ除籍ノ手續ヲスルナ、斯ウ云フ條文ヲ置イタ次第デアリマス、次ハ三十二  
條デアリマス、是モ新設條文デゴイマシタ、本籍分明ナラザル者又ハ本籍ナキ者ニ付  
キ、届出ヲ受ケマシタ後ニ其者が就籍ヲスル、或ハ本籍ガ分ツタ云フヤウな場合ニ於  
テ、其旨ヲ届出シマシタ、其届出書ト前ノ届出アリマシタ書類ト共ニ他ノ市町村長  
ニ送付スルト云フ三十一條三十二條ノ手續ヲ執ラシムルト云フ規定デゴイマス、次ハ  
三十九條デゴイマスガ、三十九條ハ現行法ノ四十條ニ該當スル條文デゴイマス、二  
十九條ノ一項ハ現行法四十條其モノデゴイマス、二項三項ハ新設條文デアリマシタ、  
即チ戸籍ノ訂正ヲ爲サシムベキ場合、戸籍ヲ抹消シナケレバナラヌ場合ニ於テ本人ニ通知  
ヲスル、本人ニ通知ヲスルモ、本人ガ尙ホ戸籍ノ訂正ヲシナイ、或ハ本人ノ所在不明ニシ  
テ通知ヲ爲スノ餘地ナキ場合、サウ云フヤウな場合ニ於テハ何レモ其儘放ツテ置クト云フ  
ト、戸籍面上ト實際ト合ハヌコトニナリマスカラ、訂正ノ手續ヲ茲ニ定メテ、市町村長  
ハ監督裁判所ノ許可ニ依テ其戸籍ノ訂正ヲ爲スコトガ出來ルト云フ二項ノ條文ヲ置キ  
マシタ、三項ハ裁判所其他ノ官廳吏員ガ、前申シマス通り戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アル  
コトヲ知ツタナラバ、遲滞ナク本籍ノ市町村長ニ其旨ヲ通知シテ、本籍市町村長ヲシテ第  
一項ノ如キ手續ヲ執ラシムル爲メニ此規定ヲ設ケタ次第デアリマス、次ハ四十條デゴ  
イマスガ、是モ新設ノ條文デゴイマシタ、同一ノ事件ニ付テ數多ノ届出義務者カラ  
届出ルト云フ間違ガアル、ソレハ届出義務者ガ數種類アリマスカラ、甲ガ届出ナキモノト  
誤信シテ乙ヨリ届出デ、或ハ外國デ大體公使ニ届ケタモノヲ、内國ニ居ル者が未ダ届出  
デナイト誤信シテ更ニ届出ヅルコトガアリマス、斯ク同一事項ニ付テ各別ニ届出ガアツタ場

合ノ調和法ヲ茲ニ設ケタ次第デアリマス、即チサウ云フ場合ニ於テハ前ニ受理シタル  
届書ニ基イテ戸籍ノ實際ト違フ居タトキハ其戸籍ノ訂正ヲシロト云フコトニシタデア  
リマス、次ハ四十一條——四十一條ハ現行法ノ百九十三條ニ該當スルノデゴイマス、  
少シク改マリマシタノハ、百九十三條ニ依リマス、行政區劃、土地ノ名稱、地番號ノ  
變更ガアツタトキニハ當然改正セラレタルモノト見做スト云フ規定ニナツテ居ルノデゴイ  
マス、併ナガラ地番號ノ變更ト云フモノヲ當然改正サレタト云フコトニ致シマス、地番  
號ハ必シモ推並ベテ改正ノアル譯ノモノデモゴイマセズ、行政區劃ノ變更若クハ土地  
ノ名稱ノ變更トハ違ヒマスカラ、千切レ——ニ變更スルコトガアル、一冊ノ簿冊ニ於キマ  
シテハ全部變更ト云フコトハナイ、之ニ反シテ一ツノ簿冊ノ行政區劃ノ變更ハ、一冊ノ簿  
冊デケラ變ヘテ置イテ済ムデアリマスガ、番地ノ方デハサウ云フ譯ニハイカヌ、サウ云フ譯  
デアリマスカラ、行政區劃ニ當然變更ノ場合ニ於テハ、當然變更サレタルモノト見做シテ  
別ニ直サナクテモ宜シイケレドモガ、番地ノ變タ場合ニ此筆法ヲ以テヤルト云フコトハ出  
來ナイト云フノデアルカラシテ、百九十三條ノ一部ヲ改正シテ、地番號ヲ戸籍ニ記載サレ  
テ置カナケレバナラヌ、當然訂正サレタ趣旨ニ基キマシテ此改正ヲ企テマシタ、次ハ四十  
二條——四十二條ハ新設條文デゴイマス、即チ市町村ノ區域ニ變更ガアリマシタ時  
ニハ、新タナル市町村ノ方ヘ其戸籍ヲ移サナケレバナラヌト云フコトハ必然ノコトデア  
ル、然レニ現行法ハ此規定ヲ缺イテ居リマスカラシテ、此處ニ設ケテ此不都合ヲ補フト云  
フ、大體本章ニ於テ改正ヲ加ヘマシタ點ハソレダケト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス  
○法學博士花井卓藏君 第三章ノ質問ノミニ便宜上御相談ガ纏テ居ルサウデア  
リマスカラシテ、其御相談ノ範圍ニ於テ一二點質問ヲ致シタイノデアリマス、尤モ私ノ質問ハ  
或ル機會ニ於テ戸籍法ノ或ル會議ノ際ニ於テ質問ハ致シテ置イタノデゴイマス、併ナガラ  
結局私ノ安心スル程ノ説明ハ得テ居ラヌデアリマス、寧ロ今尙未了ノ問題ト云フ宜  
シイト思フテ居リマス、而シテ戸籍法ニ關スル根本觀念シテ立法府タル衆議院ガ記録  
ノ上ニ明カニ致シテ置クベキコトナリト信ズルガ故ニ、或ル機會ニ於テ已ニ政府者ト爭ヒ  
タルコトアルニ拘ラズ、重ネテ茲ニ質問ニ及ブ次第デアリマス、十八條ニ戸籍ト云フ文字  
ガ書イテゴイマスルカラシテ、戸籍ノコトニ關スル質問ハ、假令根本問題ナリトスルモ第  
三章ノ範圍ヲ逸セザルモノト信ズルノデアリマス、或ハ之ハ全般ノ質問事項ニナルカ存  
ジマセヌガ、御相談ノ趣意ヲ重シテ、三章ノ範圍ニ於テト謂フコトニシテ戸籍其物ノ  
性質意義ヲ伺ヒタイノデス、戸籍ト云フモノハドウ云フ意味ノ文字デゴイマス、令義  
解ノ戸令ナドニ依リマスカラ、戸一家爲一戸也、凡戸以五十里爲里、每里置長  
一人、掌檢校戸口課殖農桑禁察非違催賦役トアル、古法ニ依レバ戸籍トハ  
略、コンナモノデアル、族制ノ家ヲ中心トシテ之ヲ作り、又戸口ヲ校り賦役ヲ課スル標準  
トスル、所謂國勢調査ノ意味モアル、明治四年四月四日ノ布告戸籍法則モ精神ニ於  
テ異ナラヌデアリマス、私ハ本法ニ掲ゲラレタル戸籍トハ抑、如何ナル意味ノモノナリヤ、  
之ヲ伺ヒタイ  
○政府委員(法學博士鈴木喜二郎君) 戸籍ト云フコトニ付キマシテ規定ヲ與ヘルコ  
トハ最モ困難ナル問題ト思フノデアリマス、先ヅ私ノ考ヘテ居リマストコロニ依ルト、戸籍  
ト云フモノハ族制ヲ構成スルコトコロノ家ト云フモノヲ簿冊ニ現サレタルコトコロノモノガ戸籍

グラウト思ヒマス、家ト云ヒマスモノハ詰リ族制ノ家デス

○法學博士花井卓藏君 族制ノ家ヲ中心トスルコト云フ主義ニ於テハ、戸籍法モ亦日本ノ家族制度ヲ長ヘニ保ツト云フコトニナル、其レガ戸籍ノ重モナル理由ノ一トナッテ居ルコト云フコトダケハ御認メニナッテ宜シウゴザイマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 左様デゴザイマス

○法學博士花井卓藏君 重ナル理由ハ其レトシテ、又之レト共ニ今日ノ言葉テ言ヘバ所謂國勢調査ト云フヤウナコトモ戸籍ノ重モナル制定理由トナリマス、課役徵稅ノ外ニ尙ホ斯ウ云フヤウナ理由モ認メテ宜シウゴザイマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 國勢調査ノ爲ニト云フコトハ從タル作用ヲ爲スノデアリマスガ、戸籍正面ノ働トシテハソレハナイモノト思ヒマス、唯從タル働トシテ附加的ノモノト思フデアリマス

○法學博士花井卓藏君 ソレハ從タルモノデハナイ、沿革ニ依リマスレバ 古キ昔ヨリシテ、文字コソ違ヒマスガ國勢調査ト云フコトハアルデアリマス、ヤハリ族制ニ於ケル家ヲ中心トシテ戸籍ヲ作ル、是ハ根本觀念、ソレト同時ニ從テハナイ強イ意味ニ於テ併セテ國勢調査ト云フコトモ含蓄セラレ居ルコトハ歷史上爭ガナイデアル、是モ或ル機會ニ於テ申シマシタケレドモ、諸君ノ御參考ニ供センガ爲ニ簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、崇神天皇ノ即位ノ十二年ニ戸籍ノ端ハ開カレテ居ル、戸口ヲ校リ男女ノ調役ヲ課シタルコトハ、國勢調査ト云フ以外ニハ何等ノ觀念モナカッタデアリマス、戸口ヲ校ルト云ヒ、課役ノ標準トスルト云フコトハ、所謂國勢調査ニ當ルノデス、降テ允恭天皇ノ即位四年ニハ、姓氏ヲ定メテ籍ヲ作ルトアリマス、而シテ其目的ハ崇神天皇ノ時代ト異ナラヌデアリマス、即チ課役徵稅ノ標準トナッテ居ッタノデス、何レモ千年又ハ千五百年前ノコトデアリマス、戸籍ナルモノハ如斯ニ國勢調査ヲ主トシタル時代ハアッタノデス、徳川氏ノ人別改モヤハリ此趣旨デアリマス、故ニ沿革ヨリ云ヘバ國勢調査ハ從タルモノデアリマセヌ、併ナガラ政府ガサウ御認メニナラヌトスレバ、恐ラクハ誤デアラウト思フ、幾ツモノ理由ノ中ニハ國勢調査ト云フコトハ確カニアル、此戸口ヲ校リ依テ以テ課役徵稅ノ標準トナスト云フ一ツノ理由ハ慥ニアル、右様ニ解スルノガ正當デアラウト思フ、併シ是ハ戸籍ノ沿革論ノ爭デ、見ルトコロガ異レバ論モ亦異ナルデアリマスケレドモ、私ハ其ヤウニ輕ク戸籍法ヲ見タクナイト云フ趣旨ヨリ御尋フスルデアリマス、本案ノ終了ニ至リマス

マデニ、私ノ見ル所ガ誤ッテ居ルカ、政府者ノ見ラレル通りノ意味ニ、單ニ民法ノ延長位ノ輕イモノニ見ルガ至當デアルカト云フコトハ御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ申シテ置クノデアリマス、尙明治四年ノ戸籍法則ト題セラレル布告ヲ讀ミマシテモ、ソレカラ無號ノ布告ガ二ツ四ツゴザイマスガ、是モ御取調ニナッテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、ソレ等ニ依リマシテモ戸籍ト云フモノハ單ニ民法ノ延長法ト解釋スル譯ニハ參リマセヌ、戸籍法ト云フモノハ含蓄事項ガ種々アリマス、今一般ノ御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ申シテ置キマス、第二ニ改メテ質問スル點ハ法ノ性質デアリマスガ、戸籍法ト云フモノハ私法デスカ公法デスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 公法ト承知シマス

○法學博士花井卓藏君 鈴木君ハ戸籍法ハ民法ノ延長法ト云フコトニ解セラレルガ

如キ御説明デアッタ、而シテ私ハ前ニ公法的關係ヲ有スル意味ニ於テ質問ヲシタノデアアル、即チ國勢ノ調査ノコトデアアル、併セテハ課役徵稅ノ標準ノコトデアアル、然ルニ鈴木君ハ之ヲ否定セラレテ、族制ノ家ヲ中心トシテノ戸籍デアルト云フコトヲ説明セラレタノデアアル、其御説明ハ直ニ私法ナリトセラル、モノデアッテ、公法ナリト御答ニナッテハ矛盾ニアラズヤ、此點ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ矛盾デナイト考ヘマス、云フノハ成程今花井サンノ仰シヤル通り、必ズシモ私法的關係ノアルトコロノ民法ノミヲ主トシテ茲ニ定メタモノデハゴザイマセヌ、元來現行戸籍法ハ所謂戸籍——花井サンノ言ハル、トコロノ昔ノ戸口調査ト云フ趣意ニ基ク戸籍ト云フモノト、ソレカラ身分登記ト云フモノハ全ク民法ノ規定ヲ受ケマシテ、民法ノ絕對規定ヲ活用セシムルタメノ補足グラウト思フ、ソレヲ今ニ於キマシテハ一ノ戸籍法ト云フモノニ收メルコトナリマシテ、身分關係ノ出生死亡其他ノ事柄ヲ記載スル點ハ全ク民法ノ執行法規ト云ッテモ宜シウゴザイマセウ、ソレカラ家族關係ヲ中心トシテ集メル點ハ、所謂昔カラ唱ヘテ居リマスニコロノ戸籍、斯ウ云フコトニナルデアリマスカラシテ、仰シヤル通り戸籍ト云フモノノ精神ト云フモノハ、必ズシモ民法ノ補助ト云フモノデアリマセヌ、而シテ私ノ考ヘルトコロデハ、民法ノ親族相續ノ規定ノ如キハ、成程私法的性質ノ民法ノ中ニ規定シデアリマスガ、其親族相續ノ規定内容ト云フモノハ或ハ公法ニ屬スルモノモアルカト心得マス、ソレデアリマスカラシテ民法中ノ親族相續ト云フモノハ、助ケノタメニ此戸籍法ニ組入ラレルトコロノモノガアリマシテモ、必ズシモ戸籍法ハ私法ナリト云フコトハ言ヒ切レマイト思フデアリマス

○法學博士花井卓藏君 理論カラ申シマシタナラバ、親族相續ニ關スルコトハ總テ公法デアルト云フ解釋ハ古クヨリ私モ持ッテ居ルデアリマス、而シテ私ガ今公法ナリヤ私法ナリヤト言フタノハ、今ノ民法ノ上ニ於テ、今ノ日本ノ法制ノ上ニ於テ、公法ナリヤ私法ナリヤト云フコトヲ問フタノデアアル、鈴木君ノ性質上公法ニ屬スルモノデアルト云フコトハ私ハ異論ハアリマセヌガ、性質上公法ニ屬スルモノデアッテモ、日本ニ於テハ之ヲ私法ト定メテ居ルカラ仕方ガナイ、日本ノ法制ヨリ見テ私法關係ト見ルベキヤ御尋スルデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ民法ハ成程私法的ノ部類ニ屬シテ居リマスガ、其規定シテアル事柄ヲ助ケルタメニ戸籍法ヲ持ッテ來テ居ル、而シテ戸籍法ハ國家行爲ニシテ町村長ヲシテ所謂戸籍ノ事務ヲ取扱ハセル、戸籍ノ事務ハ國家行爲デアアル、所謂平等關係デナイ斯ウ云フコトカラ私ハ戸籍法ト云フモノハ公法デアルト申スノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 戸籍ノ事務ガ公法關係デアルト云フコトハ、戸籍法ガ公法デアルト云フコトハ、違フデアラウト思フ、私法事務ト雖モヤハリ國家ガ執ル、國家ノ司法權ガ掌ドルデアアル、ソレバトテ之ヲ以テ私法ハ公法デアルト云フコトハ私ハ言ヘマイト思フ、私ノ今問フノハ戸籍法ノ性質ト云フモノハ、日本ノ法制ノ上ヨリ見テ、戸籍法ト云フモノハ私法ニ屬スベキモノカ、公法ニ屬スベキモノカト云フコトヲ問フノデアッテ、取扱ノ事務ガ公的關係カ私的關係カト云フコトヲ問フタノデアナイ、民法モ商法モ私法デアアル

ガ、働ハ公的關係ニアルノデアル

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 素ヨリデアリマシテ、公法私法ノ區別ノ標準ト云フモノハ、アリマスコトハ、花井君モ御承知ノ通りデアリマスガ、先程來申シマス通り、戶籍ノ事務ト云フモノガ所謂民法ノ居出ニ依テ効力ヲ生ズルヤウ關係ノ上カラ見マスル、戶籍ト云フモノハ、私的關係デアリマス、併ナガラ戶籍ト云フモノハ先程申シマス通り、其點ニ付テハ種々御議論ガアルヤウデアリマスガ、必ズシモ身分關係ニ屬スルモノ、ミラ定ムルモノデハナクシテ、所謂家族制度ガ基本トナッテ家ヲ拵ラヘテ居ルトコロノ關係ヲ定メルモノデアリマスカラ、其方面カラ見マスレバヤハリ公法ト云フコトガ言ヘヤウト云フノデ、私ハ取扱フノガ公法關係ガカラ公法ト云フノデハナク、事務ノ性質ニ於テヤハリ公法規定モアリ、中ニハ私法規定モアリマス、ソレデアリマスカラ含ムトコロノモノハ悉ク私法ノナリ、悉ク公法ノナリト云フコトハ申シマセヌ、公法私法ノモアルト同時ニ私法私法ノモノモアルト申スノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 公法私法ノモノモアリ、私法私法ノモノモアルト云フ答ヨリシテ、戶籍法ハ公法ナリト云フ議論ハ生ジマス、唯今ノ御説明ノ如クニスレバ、公法私法ノ混同法デアルト云フコトハ言ヒ得ルカモ知レマセヌガ、含ムトコロニハ私法關係アリ、公法關係アリ、故ニ戶籍法ノ性質ハ公法ナリト云フ答ハ當ラヌト思フ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 私ハ先程申シマス通り、民法デモ獨リ親族相續トハ申シマセヌ、其他ニ於キマシテモ公法私法ノ性質ノモノモアルノデ、含ムトコロノ大部分ガ私法ノナラバ私法ト云フコトガ言ヘルト云フ議論ヲ有ッテ居リマスカラ、此中ニ含ムトコロノモノガ私法私法ノモノデアッテモ、ヤハリ法律ノ關係ノ性質ガ命令服從ノ關係ニ立ツトコロガ此法ノ精神ナリト思フガ故ニ、之ヲ公法ト申スノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 其爭ハソレデ止メテ置イテ、言葉ヲ短カクシテ尋ネマスガ、此戶籍法ニ規定セラレテ居ル分量ト云フモノ、多クハ、民法關係ト云フコトハ御認メニナルノデセウカ、又……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 其通りデス

○法學博士花井卓藏君 此法文ノ上ニ於テ族制主義ノ家ノコトモ、若クハ國勢調査ニ關スルコトモ、文字ノ上ニ規定ノ現ハレテ居ナイト云フコトハ御認メニナルデセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 文字ノ上ニ現ハレテ居ラヌト仰シヤル趣意ハ……

○法學博士花井卓藏君 文字ノ上、即チ實質上規定ノナイト云フコトヲ御認メニナルカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 内容ガ現ハレテ居ルノデアッデ、表面ニ文字上ハ示シテ居リマセヌ

○法學博士花井卓藏君 鈴木君ニ申シマスガ、餘リ御警戒ヲナサラスニ御答ヲ願ヒマス、御遠慮ナク御答ヲ願ヒマス、私モ此案ニ付テハ辯護ノ一人トシテ立ッテ居ルノデアリマスカラ、御警戒ニハ及ビマセヌ、唯法ノ性質ヲ明ニシテ置キタイノデス、政府ト雖モ吾々ト雖トモ、實際戶籍法ノ性質ハ能ク知ラヌノデス、表面ニ於テハ知ツタ風ヲシテ居ッテモ、實ハ政府モ吾々モ知ラヌノデス、知ラナイカラ明カニシタイノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ問

ヲ發シタラドウ御答ニナリマスガ、戶籍法ハ規定ノ分量ノ上ヨリ見レバ民法事項多シ、故ニ民法ノ延長法ト解セザル可ラザルモノ、如ク見ユル、ソレカラ又ツレノ働ノ上カラ云ヘバ民法ノ助法ノ如クニモ見ユル、尙又法文トシテ別ニ規定ハナイノデアルケレドモ、沿革ノ上ヨリ性質ノ上ヨリ考ヘテ見レバ行政法ト解スベキ點モアル、甚ダ混同シタル法律デアッデ、或ル部分ハ民法ノ延長法タリ、或ル部分ハ民法ノ助法タリ、又或ル部分ハ行政法タリ、斯ウ云フ風ニ一種變體ノ法律デアルノデアル、斯ウ云フ問ヲ發シタラバ、然リト御答ニナルデアリマセウカ

○政府委員(法學博士小山温君) 私ヨリ一應御答イタシタイト思ヒマスガ、此戶籍法ハ見方ニ依テハ或ハ民法ノ助法ト見ラレル部分モアリマスニ相違ゴザイマスミト思ヒマス、併シ唯今鈴木君ヨリ御答シタノハ、私ノ考ヘマスニ公法ト御答セラレタ言葉ガ少シ變ヂヤナカッタカト思ヒマスガ、民法的關係ハ戶籍ニ記載スルニシテ所ガ、戶籍法ト云フ法律ノ性質ハ、戶籍ノ役人ト市町村長ニナリマスガ、其關係ヲ生ジタモノトノ關係ヲ規定スルコトガ主モノナラバゴザイマシテ、民法的關係ハ規定シテ居ラスノデアリマスカラ、大部分公法一條一條カラ見テモ大部分公法デアラウト思フ、ソコデゴザイマスカラ、戶籍法ハ公法ト他ノ政府委員ヨリ御答イタシタコトト信ジマス、ソレカラ戶籍ハ沿革上ヨリ申シマスレバ、唯今花井君ノ仰シヤル通り家ヲ明ラカニスル、族制ヲ明ラカニスル、姓氏ヲ明ラカニスルト云フガ元デアッデ、此現行戶籍法ニアリマスル身分登記ト戶籍ト分ケマスル、戶籍法ノ部分ハ從來ノ沿革ヨリ生ジタ所ノ戶籍デアル、身分登記ノ方ハ別デ、個人關係ノ身分ト申シマスヨリモ、寧ロ身分上生ズル出來事、個人的ニ生ズル出來事ヲ記載スルノデゴザイマシテ、古ノ戶籍トハマルデ違ッタモノデアッデ、此二ツノモノノ今度改正法ニ依テ同ク戶籍簿ニ記載スルコト云フコトニナリマスガ、沿革上アリマスル戶籍ト、ソレカラ今マデ日本ニアリマセナンダ身分登記ト個人的ノコト、雙方ニナルデアラウト思ヒマス、サウシテ戶籍簿ニ其身分關係即チ性質的關係ヲ記載イタシマスガ、戶籍法カラ申シマス、ドウ記載スル、ドウ届出ルト云フコトヲ規定シテ居リマスカラ、公法ト言ハレルデアラウト斯ウ考ヘルノデ、多分他ノ政府委員ノ御答モソレニ違ッタコトハナイデアラウト思ヒマス

○島田俊雄君 チョット花井君ノ御質問ニ關聯シテ御問イタシタイ、一ノ法典若クハ法ノ規定ガ、公法私法ノモノデアルトカ私法私法ノモノデアルトカ云フ事柄ハ、是ハ學者ガ法律ノ研究ヲスルコト云フ場合ニ定マルコト、若クハ說ヲナスコトデアッデ、我國ノ法典若クハ法典ニ含マレテ居ル規定ノ中ニ、是ハ公法私法ノモノデアル、或ハ是ハ公法ニ屬スル法律デアル、私法私法ノモノデアルトカ、或ハ私法ニ屬スルモノデアルトカ云フコトハ、政府當局ノ口等カラ極メルト云フコトハ如何デアラウカト思フノデス、唯今花井君ノ御質問デ政府委員トノ間ノ應答ヲ聽テ居リマス、此戶籍法ト云フモノガ公法デアるか私法デアるかト云フコトニ付テノ押問答ニ含マレテ居ルヤウデアリマスガ、政府ハ唯今花井君ノ御質問ニ、或ハ此學術ノ問題ヲ茲ニ政府トシテ結論ヲ與ヘヤウト云フ考ヲ以テ居ラレマスガ、即チ今ノヤウニ御議論ノ結果、例ヘバ政府委員ノ茲ニ主張ガ通ツタト致シタ所デ、多クノ人ガ承認スルデアリマセウカ、即チ政府委員トシテ戶籍法ハ公法ナリトカ、或ハ私法ニ屬スルモノナリト、學理ノ判斷ニ屬スベキ事柄ニ斷定ヲ與ヘルト云フ積リデアリマスガ、其

點ヲ御聽キシタイ

○政府委員(法學博士小山溫君) 政府ノ意見トシテ申上テタノデアリマスカラ解釋ハ自由デアリマシテ、別ニ公法ト云フワレガ爲メニ斷定シテ公法ノ戶籍法トナル譯チヤ無論ナイト思ヒマス、唯意見トシテ申シテ居ルノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 唯今ノ御質問ガアリマスカラ私ノ質問ノ主旨ヲ明ラカニシテ置キタイノデアリマス、學者ガ議論ヲ闘ハスノデナイ、立法部ハ立法部ノ當然ノ權能ノ上ニ法ノ性質ト云フモノハ明ラカニシテ置カケレバナラヌ、戶籍法ナル法律、大ナル法律デアリマス、此法律案ノ出デマシタル以上ハ、如何ニモシテ立法トシテ恥カシクナイヨウニシタイ、主義ガ貫カザル場合ニハ、貫ク可カラザル理由アルガ故ニ貫カヌ法律ガ出來タノデアルト云フコトヲ明ラカニシテ置カケレバナラヌ、又貫ク可キニ拘ラズ、貫ク可カラザル立法ガ出來タト云フコトデアラナラバ、修正シテ行カケレバナラヌ、學理上ノ討論ヲナスノデハナイ、私ガ茲ニ民法ノ延長法ナリト云フ問ヲ發シタノハ、若シ民法ノ延長法ナリトシタナラバ、其分量——戶籍法ニ掲ゲラレテ居ル多クノ分量ガ民法ノ延長關係ヲ保ツモノガアツタナラバ、民法ノ修正トシテ規定スベク、若シ又民法ノ助法ト云フコトデアラナラバ、是ハ無論別段ナル立法手段ニ據ラネバナラヌ、民法助法ハ幾ラモアル、非訟事件手續法モアリ、民事訴訟法モアリ、人事訴訟法モアル、是等ノモノト類似シタル他ノ立法ニヨル相當トナスト云フ論ガ出テ來マス、又之ヲ行政法ト見ルナラバ、民法トノ觀念ヲ離レタ民法ノ延長ト云フ觀念ヲ離レテ、民法ノ助法ト云フ觀念ヲ獨立立法トナスガヨロシイト云フ論モ出マス、立法部デ成ルベク筋ノ立つヤウナ、貫クヤウナ、法律ノ性質ニ矛盾セヌヤウニ法ヲ立テナケレバナラヌ、然ルニ此戶籍法ト云フノハ一種特有ノ性質ヲ有テ居リマスカラ、民法ノ延長トモ云ヘバ云ヘル、助法ト云ヘバツレモ言ヘル、一般ノ國政ノ調査ニ關スル行政法規トモ申サレル、行政法規ト云フテモ、行政私法モアリ行政公法モアル、私ハ法ノ性質ヲ明カニシ、主義ノ一貫ヲ期シ難キ法律デアルト云フコトヲ吾々ノ立場トシテ明カニシテ置キタイタメニ云フノデス、多少戶籍法ノ研究ハ遂ゲテ居リマスカラ、此點ハ私自身ハ心得テ居リマスケレドモ、特別委員トナッテ茲ニ立チマシタル以上ハ、學理的ニハ筋ノ立タヌモノガ出來テ居リマスガ、是ハ止ムヲ得ヌモノデアルト云フコトヲ、記録ノ上ニ存シタイト云フノ質問ヲシタノデアリマス、敢テ學理上ノ討論ヲスルノデアリマセヌ、島田君ニハ左様ニ御諒承ヲ願ヒタイ、私ハイロ／＼ノ混雜シタモノヲ集メテ立法ヲナスハ嫌デアリマスガ、戶籍法ニ於テ止ムヲ得ザルコトヲ認メルガ故ニ、其趣旨ヲ存シテ置キタイト云フ是レダケノ意味デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイ、ツレカラ大體ノ性質ガ判レバ宜イノデアリマスカラ、是以上ノ質問ハ致シマセヌ——今度ハ第二章ニ入リマシテ問フノデアリマスガ、第三章ノ十八條ノ三項ノ「戶主カ華族又ハ士族ナル時ハ其族稱」ト斯ウアリマス、是モ曾テ質問シテ遂ニ結果ヲ得ラレナカッタノデアルガ、華族ト云フコトニ付テハ華族令ガアツテ、其華族ト云フ族稱モ明瞭デアリマスカ、士族ト云フモノニハ士族令モナイノデアルガ、是ハ問題デアル其點ニ付テ當局ノ御意見ヲ伺フト同時ニ、族稱ナリト云フ平民其モノニ依リテ私ハシタイノデス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 明治二年ノ太政官達ニ「一門以下平士ニ至ルマテ總テ士族ト稱スヘキコト」ト斯ウ云フ太政官達ガゴザイマシテ、士族ハヤハリ一ツノ族稱ナリト思ヒマス

○大口喜六君 第十八條ノ一デアリマスガ、今回改正案トシテ出サレタモノニハ、十八條ノ一ニ「戶主前戶主及ヒ家族ノ氏名」トナッテ居リマス、現行法ニモ此通リト記憶致シマスガ、併シ此戶主ダケノ氏ヲ書イテ、家族ニハ氏ヲ書イテナイ、無論花井君ノ御議論モアリマシタガ、立法上カラハドウナルカ私共デハ分リマセヌガ、現行法デモ戶主ガ氏ヲ稱シテ居レバ、家族ハ同ジト極ツテ居リマス、現在ノ取扱ノ如ク、家族ノ氏ハ書カヌデモ、名前ダケデ宜イト思ヒマス、現在ノ取扱ハサウデアリマスガ、新法ガ行ハレマス結果、家族ノ氏モ書キマス餘程ノ手数ト思ヒマスガ、此點ハ如何デゴザイマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 御尤ノ御質問ト思ヒマスガ、現行法モヤハリ戶主モ家族モ氏名ヲ書クト云フコトニナッテ居リマスガ、實際ノ手續ニ於キマシテハ戶主ダケ氏ヲ書キマシテ、サウシテ家族ノ方ニハ名ノミヲ記載シテ居リマス、併シナガラ唯今申サレマシタ民法ノ方ニ依ッテ、家族ノ氏ハ戶主ノ氏デ、氏ハ戶主ノ附屬ニアラズシテ家ニ附屬シテ居ルノデアルト、斯ウ云フ風ニ民法デハ極メデアリマスガ、法規ノ上デハ家族ノ氏名トアリマスカラ、現行法規デハ家族ノ頭ニ書クヤウニナリマス、民法ノ規定ト相待ッテ——ヤハリ記載例トシテハ現在ノ如ク戶主ダケガ書キマシテ、以下ハ同ジ意味ニ於キマシテ家族ノ方ハ名ダケ書ク積リデゴザイマス

○大口喜六君 其點ニ續キマシテ二ツバカリ伺ヒマス、第二十四條ノ三項デアリマス、是ハ唯今ノ御説ニ依ル新設ノ箇條デアリマシテ、成程此箇條ヲ設ケマシタル理由ヲ承ッテ見マスト至極適當ト思ヒマス、併ナガラ取扱ヒマシタモノカラ考ヘマスレバ「復籍ヲ拒絕セラレタルモノガ死亡シ其他復籍スルコトナキニ至リタルトキハ復籍拒絕ニ關スル事項ヲ抹消」云々トアリマスガ、此事實ヲ第一項ノ戶籍ヲ扱ヒマスモノ、方デ知ルト云フコトハ殆ド困難ト思ヒマス、復籍ヲ拒絕シタ者ノコトヲ書キ載セテ復籍ヲ拒マレタ方ガ死亡シタリ復籍シタル時ハ、コナラノ拒絕シタ方ヲ扱ヒマシタ町村長ガ之ヲ抹消セヌナラヌカラ、事實ニ於テ之ヲ知ルコトガ困難ト思ヒマスガ、ドウ云フ御見込デゴザイマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 御尤ノ御質問デゴザイマシテ、此法條ヲ作ルトキニ於キマシテイロ／＼考ヘテ見マシタ、一説ニハ拒絕セラレタル者ノ戶籍ニ登錄スルヤウニシタラドウカト云フ説モアリマシタ、即チ唯今ノ仰シヤルトコロノ不便ヲ避ケルガ爲メニ、拒絕セラレタル者ノ頭ニ記載シタラ一番不便ヲ避ケル便法デアルト云フ議論デアリマシタガ、免ニモ角ニモ嫁ニ行ツタ養子ニ行ツタ其人ノ頭ヘ、オ前ハ追出サレタトキニ實家ニ歸ルコトガ出來ナイト云フコトヲ表示シテ置クノハ、如何ニモ人情ノ上カラ考ヘテ酷デアアルマイカ、ツレ故ニ成程戶籍ニ記載シタルコロノ市町村長ノ方カラ此事柄ヲ知ルコトハ困難デアルケレドモ、ドウシテモ拒絕ノ記載ト云フコトハ拒絕者ノ方ノ頭ヘ書ク方ガ至當デアラウト斯ウ云フコトニ致シマシテ、拒絕者ノ方ノ戶籍吏ガ之ヲ知ルト云フ事柄ハ、必ズ知ルト云フ途ハアリマセヌケレドモ、大抵實際ニ於テ知リ得ル機會ガアルデアラウ、ツレニ依ッテ知リ得タナラバ其時ニ移記シテ宜カラウト云フコトニ致シマシテ、是ダケノ規定ニシタノデゴザイマス

○大口喜六君 成程ツレデ御説明ハ分リマシタガ、私ハ事實ニ於テ是ハ困難ナルコト



ヲ生ズルと思フノデアリマスガ、是レ以上ハ意見ニナリマスカラモウ一ツ次ノ質問ヲシテ見  
タイ

○島田俊雄君 續テ御尋シタイ、同ジコトデアリマス

○大口喜六君 ソレデハ其次ニ

○島田俊雄君 今ノ復籍ヲ拒絕セラレタル者が死亡シ云々ト云フコトハ、復籍拒絕者  
ノ方デ知ル方法ハ實際ニ於テアルダラウト云フ位ナコトデアッテ、何モソレニ付テ方法ガ講  
ジテアル譯デナイノデスカ、何カソレニ付テ斯ウト云フ御考デモアル譯デナイノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ復籍ヲ拒絕シタル者が死亡スレバ、死  
亡届ガ其方カラ出マスカラ、其方ノ市町村長ニ於テ此者ハ復籍ヲ拒絕サレテ居ルモノデ  
アルト云フコトヲ事實知ッテ居タルハ成ルベク、拒絕ノ記載ノアル戸籍ノ市町村長ノ方  
ヘ知ラシテアル方法ヲ取ルトカ云フヤウニ、實際ニ施行手續トシテハ、サウ云フヤウナコトハ  
訓令事項トシテモ極メヤウカト思ッテ居ル、事實知ラナカッタラハ是非モゴザイマ  
セヌガ、知ッテ居ッタト云フ場合ナラバサウ云フ方法ヲ取ッテ補ガ付カウカ知ラン、斯ウ云フ  
考デアリマス

○大口喜六君 唯今ノ問題ニ付キマシテハ餘程行フ上ニ於テモ困難デアッテ、事實ハ行  
ヒ惡ヒコトニナラウト思フノデゴザイマスガ、ソレハ意見ニナラウト思ヒマス、次ニ伺ヒマスノ  
ハ二十七條ト二十五條ノ關係デアリマス、即チ第二十七條ヲ通讀シテ見マス、此二  
十七條ナルモノハ除籍ヲシマスル方ノ取扱ヲ示シタモノデアリマシテ、二十五條ハ入籍ヲ  
スル者ノ取扱ヲ示シタモノト解セラレノデアリマス、二十七條ノ除籍ヲ致シマス者ノ方  
カラ申シマスルト、入籍スベキ者ノ入籍ヲサレテ、其方カラ入籍ノ通知ヲ受ケタ後デナク  
テハ除籍ヲスルコトガ出来ナイ、斯ウ云フコトニ二十七條ハ極メテアル、所ガ二十五條ノ  
入籍者ノ方ヲ見マスルト、入籍ヲ取扱ヒマス市町村役場ヘ直接届出デマスレバ、入籍  
ノ通知ヲ致サナクテモ宜イコトニナッテ居ルデアリマス、其場合ニ届書ダケヲ二十五條ニ  
依ッテ送り付ケサヘスレバ——除籍スル方ニ送り付ケサヘスレバ入籍ノ通知ヲシナクモ宜  
イ、サウナルト二十七條ノ方カラ來ルト、入籍ノ通知ガ來ナイト何時マデモ除籍スルコト  
ガ出来ナイ意味ニ解セラレノデアリマスガ、ソレヲ後トノ三十五條ニナリマシテ是ト南方  
ヲ通ジテ見デ、ヤハリ入籍ノ通知ハナクモ、届書ガ來ルダケデ入籍地ニ届出タ場合ハ  
除籍シテモ宜イコト云フ意味ニ解スル、然ルニ一方デハ其取扱ガ出来ヌト思ヒマスガ、少  
シ法律ガ不備ダト思ヒマスガ、其點ハドウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 入籍地ノ方ヘ届出ヲ致シマスルト、戸籍吏  
ガ入籍ノ手續ヲ致シマシテ、除籍ノ方ノ市町村長ノ方ニ送ッテヤリマスカラ、除籍ノ市  
町村長ノ方ハ、入籍地デ入籍ノ手續ヲ了ッタノデアルカラ、最早此者ハ入籍シテ居ルト云  
フコトガ分リマスカラ、更ニ入籍ノ手續ガアリマセヌデモ、除籍ノ手續ガ出来ルデアリマ  
ス、之ニ反シテ入籍地デナイ市町村長ニ届出タモノハ、先キニ入籍ノ出来ナイ中ニ除籍  
ヲ致シマスルト、或瞬間無籍者ト云フコトガ起キマスカラ、ソコデ消ス方ハ後デ消セ、入  
籍ノ通知ノアッタ後ニ消セ、斯ウ云フ趣意デアリマスカラ、是デ不備デナカラウト思ヒマス  
○大口喜六君 事實其通りデアリマシテ、今御説明ノ通りデアルト私ハ信ズル、然ルニ  
二十七條ヲ見マスルト、除籍セラルベキ本籍ガ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ、前

項ノ手續ハ入籍ノ通知ヲ受ケル後之ヲ爲スコトヲ要スアルカラ、此法文ノ上カラ見ル  
ト、除籍ノ市町村長ヘ入籍地カラ入籍ノ通知ガ來ナケレバ除籍ガ出来ナイト見ラレ、  
三十五條ノ方ハ御説ノ如ク入籍者ガ入籍地ニ自ラ届出タ場合ハ、届書ヲ送ッテヤレバ  
宜イ、此箇條ニ依ッテ入籍ノ通知ヲ送ラナイデモソレハ除籍地ノ方デハ入籍地カラ來タ  
ノデアルカラ、入籍セラレタモノデアルト云フコトハ分リマスガ、入籍ノ通知ハ來ナイカラ、二  
十七條ニビッタリ當デルト除籍ハ出来ナイ、斯ウ云フ疑問ヲ起シハシナイカト思フノデアリ  
マスガ、事柄ハ能ク分ッテ居リマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 二十七條ヲ初メ起案致シマシタトキニ、ヤハリ二  
十五條ノヤウニ但書ヲ置イタデアリマス、然ルニ此處ニ但書ヲ置キ、三十五條ニ但書ヲ  
置クト云フコトハ、兩方ニ置クノハ却テ煩雜デハアルマイカ、ソレデ二十五條ニ但書ヲ置  
イタナラバ、但書ノ場合ニ於テ入籍ノ通知ハ要ラヌデアアル、サウスルト二十七條ニ記  
載スル場合モ入籍ノ通知ノ要ラヌ場合マデモ、入籍ノ通知書ヲ受ケテ而シテ戸籍ニ記  
載スルコトニ解釋スルコトモアルマイカラ、二十五條ニ但書ヲ置イタナラバ、二十七條ノ  
解釋ハ自ラ明カデアアル、餘リ汚イト云フノデ此但書ヲ二十七條カラ削ッテ、精神ハヤハリ  
但書ガアルノト同ジデ、入籍ノ通知ノアル場合ニ入籍ノ通知ヲ受ケタナラバ、其通知ニ  
基イテ除籍ノ手續ヲスルト云フ意味ニナルノデアリマス

○大口喜六君 唯今ノ御説明デ能ク分ルノデアリマシテ、實ハ私ハ二十七條ニ但書ガ  
アッタナラバ宜カラウト思フノデアリマスガ、唯今ノヤウナ御解釋ヲ此處ニ承ッテ置ケバ、其  
解釋ニ依ッテ將來一般ニ戸籍ヲ扱フ者モソレデ分ラウト思ヒマス、質問ハ是ダケデ止  
メマス

○法學博士花井卓藏君 十八條ノ三號ニ華族ト云フ文字ガアリマスカラ、ソレニ牽  
聯シテ御問ヲスルノデス、此法案ノ規定ニ「戸籍事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督  
ニ關スル規定ヲ準用ス」トアリマス、即チ廣キ意味ニ於テ士族ト華族ト平民ト何人タル  
ニ拘ハラズ、戸籍事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スルコトニナッテ居リマス、然  
ルニ華族令第十三條ニ依リマサルト「有爵者及其家族ノ身分ニ關シ監督上必要ナル  
事項ハ宮内大臣之ヲ管掌ス」ト云フ規定ガアリマス、本法ハ華族令ノ十三條ノ宮内大  
臣ノ管掌事項ニ關スルモノヲ、第二條第二項ニ據テ司法行政ノ監督ニ取ルト云フ意  
味ニ解シテ宜シイデアリマスガ、ソレカラ華族令第十三條ニ依リマサル「華族ノ身分ニ  
關シ監督上」ト云フ文字ハ、其含蓄ガ深ク且ツ廣イモノデアッテ、私ハ此三條ノ規定ハ  
華族ノ身分關係ニ付テハ三條ノ二項ニ據ッテ奪フト云フヨリ外ニ解釋ハ出来ナイト思ヒ  
マスガ、此解釋ハ當ラナイモノデアリマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 華族令第十三條ノ規定スルトコロノ宮内  
大臣ガ有爵者ノ身分ヲ監督スル權限ヲ戸籍法第三條ノ二項デ奪ツタモノデナイ、戸籍  
法三條ノ二項ハ唯戸籍事務ヲ取扱フニ付キマシテ市町村長ヲ監督スルダケノ規定トシ  
テ司法行政ノ監督ニ服従スルコトニナリマシテ、身分ノ監督ハ決シテ戸籍吏ノ方デ扱フ譯  
デアリマセヌ、從ッテ司法行政ノ監督トシテ其中ニ包含セシメル意味ハナイノデアリマス、  
ソレデアリマスカラ身分ノ監督ト華族タル家族ノ戸籍事務ヲ取扱フ戸籍ノ監督ヲ規定  
シテ居ルノデアリマスカラ、決シテ三條ノ二項アルヲ以テ華族令第十三條ヲ抹殺スル考デア

リマセヌ

○法學博士花井卓藏君 華族令第十三條ノ解釋ハ政府委員ノ説明ニ便ナルヤウニ言ハレタノデアリマスガ、法文ハ「有爵者及其家族ノ身分ニ關シ監督上必要ナル事項ハ宮内大臣之ヲ管掌ス」ト書イテアルノデ、今日マデハ十三條ノ勳デ華族ニ關スル身分一切ノ事柄ハ支配セラレテ居ッタモノニ相違ナイノデアリマス、ソコデ此文字ヲ鈴木君ノ言ハルル如ク説明ニ便ナルヤウニ狹ク解釋スレバ、或ハ是ガ貴族院杯ニ廻サレタ曉ニ、華族令十三條ハ必ズ戸籍法第三條二項トノ抵觸問題トナツテ大騷動ガ起リハシナイカト思フノデアリマスガ、今一層御攻究ノ上、次回ニ於テ安心ノ出來ルヤウナ御答辯ヲ得タイト希望致シマス

○島田俊雄君 此十八條ニハイロ／＼事項ヲ列記シテ舉ゲテアリマスガ、第十四號ノ「其他戸主又ハ家族ノ身分ニ關スル事項」トアル「其他」ト云フノハ何ヲ包含セシメヤウト御考ヘニナツテ居ルノデアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ澤山アルト思ヒマス、十三號マデニ記載シテアリマス戸主若クハ家族ノコトニ付テ、爾後身分上ノ異動ヲ生ズルコトガアルト思フノデアリマス、例ヘバ死亡スルコトカ、失踪宣告ヲ受ケルトカシマスレバ、戸籍ニ記載シナケレバナラス、ソレヲ申シタノデアリマス

○島田俊雄君 私ノ聽キタイノハ「身分」ト云フ言葉ノ解釋ニ關係スルト思ヒマスガ、十三號マデノ事項ニ關聯シテ居ルト云フ意味デアリマスガ、或ハ身分ト云フ言葉ヲ廣ク解釋シテ、例ヘバ官吏ト云フモノモ身分デアアル、衆議院議員ト云フモノモ身分デアアル、サウ云フヤウナ關係モ含マルノデアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 官吏デアルトカ議員デアルトカ云フ事柄モ一種ノ身分デアリマスガ、茲ニ申ス身分ハサウ云フ廣イ意味デアリマセヌ、而シテ私が述べマシタル死亡トカ失踪トカ云フコトハ存在シテ居ルトコロノ身分デアリマセヌ、ツマリ身分ガ無クナルノデアリマスカラ、死亡トカ失踪トカ云フコトハ一家族關係カラ離脱スルノデ、家族ノ身分ヲ無クサス結果ヲ生ズルモノデアリマスカラ、身分ヲ失フノモヤハリ身分ニ關スル事柄トシテ解釋スルコトガ出來ルト思ヒマス

○島田俊雄君 サウスルト身分ト云フ言葉ヲ政府ハドウ云フ 風ニ定義ヲ與ヘラレテ居ルノデスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 私カラ補ヒマスガ、身分ト云フ文字ハ曖昧ノ文字デアリマシテ、現行法モ身分ト云フ解釋ヲ出シタナラバムヅカシイト思ヒマス、併ナガラ、戸籍法ハ届出ニ依テ戸籍簿ニ記載スルノデ、届出デナイコトハ全ク記載シナイノデアリマス、ソコデ届出ニ付テドレダケガ身分ニ關スルコトカト云フコトハ、届出書ニ就テ見レバ極メテ平易ニ分カルノデ、自分ノ範圍ニ付テハ疑ハ起ラナイト云フ考デ、廣イ文字ヲ使ツタ次第デアリマス

○島田俊雄君 御趣意ハ大體分カリマシタガ、意見ニ涉リマスヤウデスケレドモ、列舉的ニ身分ニ關スル事項ヲ並ベテ置キナガラ、シマイニ廣イ掃き溜メ的ノモノヲ置カレルト、列舉主義ヲ沒却スルヤウナコトニナリハシマセヌカ、身分ト謂フノハ廣イ意味ノ言葉デアアル、其廣イ言葉ヲ茲ニ掲ゲテ來ルト、私ガ今申シタヤウナ疑問ヲ挿シテ來テ、身分ト云フ

コトノ定義ヲ定メテ置カケレバナラヌト云フヤウナコトガ起ツテ來ヤウト思ヒマス、列舉主義ヲ此處ニ至ツテ打壞スト云フヤウナ感ガシマスガ、何カ「其他」云々ト云フコトニ就テ他ニモ斯ウ云フ例ガアリマスガ

○司法省參事官(山内確三郎君) 現行法ハ澤山ニ事項ヲ列舉シテ「其ノ他身分ノ變更又ハ消滅ニ關スル事項」ト斯ウ云フコトニナツテ居ッタノデス、ソレデ列舉ダケハドウシテモ現行法ダケハ足ラヌ、消滅變更ダケヲ書クト云フコトニナツテ居リマシガ、ソレデハ終リノ事項ダケデアルト、例ヘバ戸主家族ノ身分ニ關スル事項、他家カラ養子ニ入ッテ來タト云フ時ニ、家族ノ身分ノ變更ト云フコトガ言ヘルカ否ヤト云フヤウナコトニ就テモ疑ヲ生ズルノデスカ、苟モ身分ニ關スル事項ナラバ戸籍ニ記載スベキモノデアルトシテ、届書ニハ細カク列舉スルト云フ方針ヲ採ツタノデス

○島田俊雄君 今ノ點ハ其以上ハ議論ニナリマスカラ止メマスガ、序ニ他ノ點ヲモウ一ツ伺ヒマス、先程大口君カラモ御問ニナリマシタガ、二十四條ノ規定デアリマス、是ニ就テ第一項ノ所ニ大體御説明モアリマシタガ、此復籍拒絕ノ届出ノ場合ニ、其復籍拒絕ノ事柄ヲ復籍拒絕者ノ届書ニ記載スルト云フ理由ハ、先程モチヨット御説明ガアリマシタガ、ソレハ人情論ダケデ、他ニハ理由ハナイノデスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 其通りデス

○島田俊雄君 尙ホ御伺ヒ致シマスガ、第三十九條ハ職權抹消若クハ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正スル場合ヲ規定シテアルノデアリマスガ、此規定ヲ通讀シテ見マスト、即チ戸籍ノアルコトヲ前提トシタ規定デアアル、然ルニ各所ニ見エテ居リマス一家創立ノ場合ノ如ク、戸籍ヲ新ニ作ル場合ニ一定ノ期間内ニ届出ヲシナカッタ時ニハ、其新ニ造ラレタル家ハマルデ戸籍ガナイト云フコトニナル、サウ云フモノニ對シテ適用スベキ條項ハ他ニ見エナイヤウニ思ヒマスガ、ヤハリ此手續デアルノデスカ、例ヘバ一家創立ヲスベキ事件デアッタ時ニ、ソレヲ知ツテカラ何日間ナラ何日間ノ中ニ創立ノ手續ヲシナケレバナラヌ、其規定ニ依ッテ創立ノ手續ヲシナケレバナラヌニ、町村長ガ多分共事實ヲ知ツタラウト認ムベキ理由ガアツテモ、届出デナイト云フ時分ニソレヲ救済スル方法ガナイヤウデスカ、ソレハ此規定ニ依ッテ御考デアルカ、或ハ他ニ特別ノ條文ガアルカ、若クハ方法ガアリマスガ

○政府委員(法學博士小山溫君) 一家創立ノ届出ハ法定期間ハアリマセヌガ、除籍サレマシタ時ニ一家創立ノ手續ヲシナカッタ時ニハ、ヤハリ戸籍ノ記載ノ中ニ入レマス、ソレデアリマスカラ相當ノ期間ヲ定メ届出ヲシト云フコトヲ六十四條デ催告ヲ致シマス、ソコデ尙ホ届出デナカッタ時ニハ三十九條ノ二項ノ準用ヲ受ケルト云フコトニナツテ居リマス

○野村嘉六君 今ノ島田君ノ御質問サレタ三十九條ノ第二項ノ方ニ「戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキハ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得前項但書ノ場合亦同シ」トアル、此文字デアリマスガ、監督區裁判所ノ許可ヲ得ルト云フコトハ監督區裁判所アル所ハソレデ宜イガ、今日ノ制度デハ監督區裁判所ガナクシテ、單獨區裁判所デアハリ戸籍ヲ取扱ツテ居ル、今年ノ裁判所構成法ノ改正ノ結果デアリマシタカ、サウ云フコトガアリマス、サウシマシタ時ニハ監督シテ居ルモノ、ナキ單獨區裁判所ニ於テハ、是ハ誰ガ扱フノデゴザイマスガ、ドウモ此監督區裁判所ノ許可

ト云フコトハ意味ヲナセナイヤウニ思ヒマスガ

○政府委員(法學博士小山溫君) ツレハ監督區裁判所ノ許可デアリマシテ、市町村アル限りハ何處デモ區裁判所ノ監督ヲ受クルノデアリマシテ、是ハ裁判所構成法ニ依ル監督判事デアリマセヌ、市町村ヲ監督シテ居ル區裁判所ノ許可デアリマスカラ、所謂監督判事デハナク、其町村ヲ監督スル區裁判所ノ判事ノ許可ヲ受クレバ宜イト云フコトナリマス

○野村嘉六君 サウスルト監督區裁判所ト云フ文字ハ、結局市町村ヲ監督スル裁判所ト云フ意味カラ監督ト云フ文字ヲ用井タノデスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 第三條ニ「所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事」ト云フコトニナッテ居リマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 此文字ハ、餘程重大ナル意味ガアリマスカラ、説明ヲ少シク附加ヘテ置キマス、此ノ文字使ヒテ區別致シマシテ、所在地ヲ管轄スル裁判所ト、ツレカラ監督區裁判所、斯ウ云フ文字ヲ使フノデアリマス、テ監督區裁判所トシテ書イタ時ニハ、其裁判所ノ行政事務ト云フ意味デ、行政事務ヲ取扱フ關係ニ於テ監督區裁判所ト云フ文字ヲ使ヒマス、ツレデ茲ニ市町村長ガ戶籍ノ訂正ヲスルニ付テ許可ノ申請ト云フカ許可ヲ求ムル時分ニ、區裁判所ハ非訟事件裁判所トシテ事件ヲ取扱フニアラズンバ、司法行政ノ事務ヲ取扱フト云フ意味ニ於テ、許可ヲ與フル場合ハ之ヲ非訟事件ト致シテ居リマシタガ、ツレデハ繁雜デアルト云フノデ、特ニ監督區裁判所ト云フ文字ニ換ヘテ之ヲ行政事務トシテ、ツレデ裁判所ニ監督判事ガアレバ監督判事、一人ノ判事ガアレバ一人ノ判事、ツレデ許可ヲ與フルト云フ主意ニナッテ居リマス

○島田俊雄君 今監督裁判所ト云フコトガ出マシタカラ、少々前ニ遡ルヤウデアリマスガ、チヨット御聽キシテ置キタイト思ヒマス、文字ノコトデアリマスカラ簡單ナコトデアリマス、法律上ニ「區裁判所ノ一人ノ判事」トアル、アレハ何カ特別ノ意味ガアルノデスカ、通常デアレバ「判事ノ一人」ト書カルベキヤウニ思ヒマスガ、何カ逆シマニナッテ居ルヤウニ見エルノハ、特殊ノ意味ガアルノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 是レハ裁判所構成法ニアルノデス、判事ノ一人ト云フコトハ二人以上ノ判事ガアルトキニドツチニデモト云フコトニナルカラ、一人ノ判事ノ場合ニハ監督判事ト云フ名前ヲ附ケテ、サウシテ特別ニ構成法デハ「一人」トナッテ居ル、二人以上アルトキニ其一人ヲ監督判事ト云フ名前ヲ附ケル、其時デス

○野村嘉六君 唯今ノ御説明ハ内容ニ這入ッテ説明ヲ聽イテ見レバ尤モト思ヒマスガ、併シ監督區裁判所ト云フ一ツノ文字ノ如キハ、一ツノ官廳ヲ悉クシタ意味ラシク受取レルノデス、ツレデ地方裁判所トカ區裁判所トカ行政裁判所トカ云フ一ツノ裁判所構成法ト云フヤウナ特別ノ法律ガ附與サレタル一ツノ行政廳ヲ意味スルヤウニ凡テノ人ガ解釋スルノデアラウト思ヒマス、所ガ茲ニ監督區裁判所トアルノハサウデナクシテ、監督スルカラ殊更ニ監督區裁判所ト云フ文字ヲ拵ヘタルノデアラウ、斯ウ云フコトデアリマスガ、法律ハ何デモ勝手ニ出來マセウケレドモ、外ノ方ノ一ツノ官署——他ノ法律ナリ又ハ他ノ命令ニ依テ官署ヲ設ケラレタノト意思ガ混合シテ錯綜スルヤウナ考ガ起ル、何トカモウ一ツ文字ノ使方ハナカッタノデスカ

○島田俊雄君 今ノニ附加ヘテ御問致シマス、私モ同感デアリマス、是レハ御起草ノ際ニ第三條ノ裁判所ト云フヤウニ、前ノ裁判所ヲ明カニ分カルヤウナ意味ノ文字ヲ使フヤウナ御考ハナカッタノデスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 監督區裁判所ト云フ文字ハ今度初メテ使ッタノデハナイノデ、現行ノ戶籍法ニ所々ニ監督區裁判所ト云フ文字ガアリマス、ツレガ司法行政ヲ取扱フ意味ニ於テノ裁判所ト云フコトニ使ハレテ居ルノデス、サウシテ其點ニ付テハ今日マデ政府ノ取扱ニ何等ノ害ヲ起サズシテ濟ンデ參リマシタ、稍、不穩當デアリマスガ、現行法ノ文字ハ成ベク之レヲ保存シテ置カウト云フノデ此處ニ引用シテ來タ次第デアリマス、從前ニ於テモ「監督區裁判所」之レヲ保存ス「ト云フヤウナ文字モ使ッテ居ル、ツレヲ持ッテ來タ次第デアリマス

○委員長(長島鷲太郎君) ツレデ休憩シテ午後一時半カラ開キマス、尙願ッテ置キマスガ、成ベク質問モ簡單ニシ、御答辯モ簡單ニ願ッテ置キタイデス

午後一時三十分開議  
午後零時十五分休憩

午後一時三十分開議

○委員長(長島鷲太郎君) 是ヨリ引續キ開會イタシマス

○野村嘉六君 チヨット簡單ニ御伺ヒラシマス、此町村長ガ戶籍ニ關スル事務ヲ取扱フト云フコトハ、總テニ對シテアル言葉デアリマスガ、所ガ第二條ニ「市町村長ハ自己又ハ自己ト家ヲ同シスル者ニ關スル戶籍事件ニ付キ其職務ヲ行フコトヲ得ス」トアリ、第一條ニハ「戶籍ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス」トアル、ツレカラ三條ニモヤハリ戶籍事務ト云フ字ガ書イデアリマス、此第二條デケニ事件ト書イテアッテ、他ニハ事務ト云フヤウニ書イテアルコトハ、法文ノ體裁トシテモ一致ヲ缺イテ居ルヤウニ感ズルノデアリマス、區々タル文字ノ爭ノヤウデアリマスケレドモ、ヤハリ法文ノコトデアリマスカラ、一致シタ方ガ宜カラウト思フガ、事件ト事務ト文字ノ區別ヲシタノハ何カ深甚ナル理由デモアルノデアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) サウ深甚ナル意味ガ含ンダ譯デアリマセヌ「戶籍事務ニ付キ其職務ヲ行フヲ得ス」ト云フト語呂モ惡イノミナラズ、凡ソ此事柄ヲ戶籍事件ト云フテ居リマス、ツマリ戶籍ノ方カラ言ヒマス、斯ウ云フ立方ニナッテ居リマス、其戶籍事件ヲ市町村長ガ職務トシテ取扱フト、斯ウ云フ譯デアリマシテ、一條ノ方ニハ事務ト書イデアルノデアリマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 尙少シク補ッテ置キマスガ、第一條ノ戶籍事務トハ廣ク一般ノコトヲ謂ヒ、戶籍ト云フ事務ヲ總體トシテ市町村長ガ管掌スル、ツレカラ第二條ハ一ノ婚姻關係或ハ養子縁組ヲスルト云フヤウナ一事件ニ就テ之ヲ謂フノデ、總體ノ事務ニ關スルモノデアリマセヌ、ツレデ戶籍事務ト云フノハ一ノ行政事務ヲ一括シテ市町村ノ管掌ニ屬スルモノデアアルガ、其中ノ或ル個々ノ事件ニ付テ、市町村長ガツレト親族關係ガアルト云フ場合ニハ行フコトガ出來ナイト、斯ウ云フ意味ニナッテ居リマス

○野村嘉六君 サウスルト第二條ノ戶籍事件ト云フノハ範圍ガ事務ヨリハ狹イト云フ



コトニナルノデアルト云フコトハ分リマシタガ、ソレハドレ程ノ程度ニ狹イノデスカ、モウ一應伺ヒマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 非常ニ程度が狹イノデス、ツマリ一ノ婚姻ガアルト云フト茲ニ婚姻届ト云フモノガアル、ソコデ其婚姻ノ届出ト云フ一ノ事件ヲ指シテ戸籍事件ト云フノデアル、ソレカラ事務ト云フノハ全般ノ事務、戸籍法ニ書イテアル總テノ事務ヲ一括シテ言フノデス

○野村嘉六君 初メカラサウ云フ御考ナラバソレデ宜シウゴザイマス、ソレカラモヤハリ現行法ニ就テデアリマスガ、第六條ノ二項ニ「前項ノ場合ニ於テ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スル吏員ナキ地ニ在リテハ其地ヲ管轄スル地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其代理者ヲ定ム」トアル、此時ニハ地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ定ムルノデスカ、是ハ現行法ノヨリハ斯様ニシタ方が宜イノデアリマスガ、從來ハ總テノ權限ハ地方裁判所ノ長ニ屬シテ居タヤウデアッタカラ從テ地方裁判所ノ長ガヤルト云フコトハ當然デアリマスガ、今回ハ地方裁判所ノ權限ヲ區裁判所ニ移シタ點ガアルノデアリマス、ツマリ區裁判所ニ責任ヲ持タセテ地方裁判所ハ關係が少ナクナッタヤウニ思ヒマスガ、サウスレバヤハリ權限上ハ區裁判所ノ判事一人又ハ監督判事ニサセテハドウ云フモノデアラウカ、此點ヲ伺ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 現行法ハ地方裁判所ノ長ト云フコトニナツテ居リマスガ、其主意ヲ襲踏シタコト、尙是ハ代理者ヲ定ムル人間ヲ選ムノデゴザイマスカラ、ソレハ監督區裁判所ノ判事ヲシテ選マセルヨリモ、寧ロ管轄スル所ノ地方裁判所ノ長ヲシテ選マセタ方が適當ノ人物ヲ選ムコトが出来ヤウト云フ主意カラ、斯様ニ定メタノデゴザイマス

○野村嘉六君 少シク議論ニ互ルカ知レマセスケレドモ、私ノ考デハ直接ニ關係スル所ノ人が選ンダ方が却テ事情が分ッテ居ルカラ、適當ノ人ヲ選ムコトが出来ヤウト思ヒマスガ、何カソレニハ理由ガアリマスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 其區裁判所ノ監督判事が戸籍事務ヲ監督シテ居リマスガ、代理者ハ多ク裁判所ノ書記ヲ以テ之ニ當ラセルト云フコトニナツテ居リマス、其裁判所ノ書記ヲシテ或ハ登記事務ヲ扱ハシムルニシテモ、或ハ身分登記ヲスルニシテモ、今日ノ法令デハ監督判事ニハ監督權ガナイ、總テ辭令ヲ出スニシテモ皆所長ガ定ムルコトニナツテ居リマス、ソコデ裁判所書記ニ戸籍事務ヲ取扱ハセルト云フコトハ、ヤハリ書記ノ監督ノ任ニ當ッテ居ル所長ニ任命ノ權ヲ與ヘルト云フ主意デアリマスカラ、其關係ノ爲メニ第六條デハ所長ヲシテ定メシムルト云フ主義ヲ襲ウタ次第デアリマス

○野村嘉六君 第十一條ノ二項ニ「正本ハ之ヲ市役所又ハ町村役場ニ備ヘ副本ハ監督區裁判所ノ之ヲ保存ス」ト書イテアリマス、所ガ是ハ舊法ノ第七十二條ノ規定ヲズツト此處ニ持出シタト思ヒマス「戸籍簿ハ正副二本ヲ設ク戸籍簿ノ正本ハ之ヲ戸籍役場ニ備ヘ其副本ハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ノ之ヲ保存ス」ソレデ舊法ニ於テハ地方裁判所ガ保存ノ役デアッタ、所ガ今度ハ監督區裁判所ガ保存ノ役ニナツテ、位一級下ツタ傾ガアル、其懸隔カラ言ヒマスルト、第六條ノ任免權モ監督區裁判所ガ御ヤリニナッタ方が權衡ガ取レルヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ唯今ノ山内參事官カラ申上ゲタ通り職員等ノ監督關係ハ所長ガ司ツテ居リマスカラシテ、從ッテ此事務代理者ヲ極メルニシテモ、所長ガ極メルノガ穩當デアルト云フコトニ見タノデアリマス、書類保存ノ場所、或ハ帳簿保存ノ場所ハ、前回述べマスル通り地方裁判所ヲ改メテ區裁判所ニ移シマシタガ、ヤハリ監督關係ト致シマシテハ區裁判所——監督關係ガ地方裁判所ハ其上ノ監督者デアルカラ、無關係ノ所長ガ代理者ヲ極メルト云フ次第デアリマセウカラ、ソレ故現行法ニモアルコトデアリマスルシ、町重ノ取扱カラ所長ヲ以テ之ヲ定メルコトニ致シマシタ、監督區裁判所ノ判事ノ方が直近シテ居リマスカラ、人物如何ヲ見ルコトが出来ヤウト云フ御説ガアリマシタガ、ソレハ無論斯ウ云フ場合ニハ書記ヲシテナサシムルノデアッデ、彼ガ適當デアルカ彼ガ適當デアルカト云フコトヲ所長ガ定メマスルニ付テハ、或ハ監督區裁判所ノ判事ノ意見ヲ聞ク事モアリマスガ——聞クコトモアルノデアリマスカラシテ、無暗滅法ニ所長ガ極メルトコトハナカラウト思ヒマス

○野村嘉六君 ソレハ議論ニ互リマスカラシテ、權衡ヲ得ナイト云フコトニ付テ私ハ申上ゲタノデアリマスガ、第十三條デアリマス「戸籍簿ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外市役所又ハ町村役場外ノ之ヲ持出スコトヲ得」舊法ニ依リマスト第十二條ニ「但登記ヲ終結シタル登記簿ニ付裁判所又ハ豫審判事ノ命令アリタルトキハ此限ニ在ラス」是デケテ削除シタルデアリマスガ、是ハ削除サレタ理由ヲ問フノデナイ、立法ニ付テノ理由デアリマスガ、裁判所トカ豫審判事ノ命令ガアタル場合ニ於テハ、刑事訴訟法ノ原則トシテ書入レナクとも當然持チ出スコトが出来ルカラト云フ意味カ、但ハ又縱令裁判所ノ命令ト雖モ、此條ニ記載以外ノ事ニ付テハ持出セヌ、斯ウ云フノデアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 是ハ現行法ノ十二條ノ趣旨ト異ナラスノデアリマス、第十二條ニ於テモ身分登記簿ト云フモノヲ事變ヲ避クル場合ノ外如何ナル場合ト雖モ戸籍役場外ニ持出セナイノデアリマス、唯身分登記簿ニハ登記ヲ終結シタル際、是ハモウ終結シテシマウテ居リマスカラ、即チ一冊使ヒ切ツタ帳簿、使切ツタ帳簿ガケハ持出スコトが出来ルト云フコト、ナルノデアリマス、サウ云フ趣旨デアルトスレバ、今此改マッタ戸籍法ト合シテ見マスルト、戸籍簿ハ——此改正戸籍簿ト云フモノハ終結スルト云フコトハナイノデアリマス、常ニ使ッテ居ル、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマスカラ、ドウシテモ現行法ノ趣意ノ如ク如何ナル場合ト雖モ持出スコトが出来ナイト云フコトニシナケレバナラヌト思ヒマス、除籍簿ト云フノハチヨット終結シタル帳簿ノヤウニ見エマスガ、是トテモ除籍ハ或者ノ過去ノ事蹟ヲ知ル爲メニ最モ必要ナルモノデアリマスルニ依ッテ、是亦第十三條ヲ準用シマシテ濫リニ持出ス事ヲ禁ゼシメタ次第デアリマス

○野村嘉六君 除籍法ト同様ナコトデアリマスカラ、序デニモウ一ツ第十四條ノ「市町村長ハ正當ノ理由アル場合ニ限リ前二項ノ請求ヲ拒ムコトヲ得」是ニ付テ一ツノ疑問ガアル、市町村長ハ自分ノ職權ニ依ッテ正當ノ理由ト認メルニハ、具體的ノ理由ヲ中シマシタナラバドウ云フ風ナ場合ヲ云フノデアリマセウカ、一々ノ例證デナクテモ宜ウゴザイマスガ

○委員長(長島密太郎君) ソレハ現ニ速記録ニアリマスカラ……

○野村嘉六君 是ニ對シテ若シ聴カナクッタナラバ——抗告トカ何トカ何トカト云フ手

續ハアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 唯今ノ御尋ニ付テハ前會ニ於テ齋藤サノ御尋ニ對シテ御答ヘシタル點デゴザイマス、ソレカラ若シ……

○荒川五郎君 缺席シテ又聽カレテハ困ル

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレカラシテ或ハ戶籍吏ガ——市町村長ガ正當ノ事由ナクシテ戶籍簿ノ閱覽等ヲ拒ミシ場合デアレバ、第七十八條ニ於テ二十圓以下ノ科料ニ處セラレルト云フコトニナツテ居リマス

○野村嘉六君 抗告ハ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 抗告ノ方ハ戶籍事件ニ付テハ「市町村長ノ處分ヲ不當トスル」云々ト云フ 第六十九條ノ規定ニ從ヒマシテ抗告ガ出來ルコトニナツテ居リマス

○齋藤隆夫君 私ハ極ク簡單ニ二三點ヲ御尋シタイ、第十九條ノ第六ノ「戶主ノ親族ニ非サル者」此戶主ノ親族ニ非サル者ヲ戶籍簿ニ記載スル場合ガアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ澤山アルト思ヒマス、詰リ戶主ト家族トハ親戚デアツテ、其家族ガ自己ノ親族ヲ入籍セシムルト云フコトガアルノデアリマス、其親族入籍ニ依ツテ入籍來テ者ガ、或ハ戶主ノ親族ナル事モアリマス、戶主ノ親族ナラザル關係モアリマス、モウ一ツハ現在ノ戶籍デアレバ戶主ノ親族デアツテモ、其戶主ガ死亡シテ新ナル戶籍ヲ編成致シマスル時ニハ、前代ノ戶主ニハ親族デアツテモ、當代ノ戶主ニハ親族デアナイト云フ人間モアルノデアリマス、是ハ澤山アラウト思ヒマス

○齋藤隆夫君 サウスルト戶籍ト云フモノニ書ク事柄ハ、戶籍ハ家ト云フモノ、籍ヲ記載スル所ノ文書デアアル、斯ウ解釋シテ家ト云フモノハ戶主ト家族トデ成立シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ヨリ以外ノ分子ト云フモノハナイモノト私ハ思フノデアリマスガ、サウスルトツレ以外ノ親戚デアイモノモ戶籍ニ加エルト云フコトニナルト、家ニ非ザルモノヲ書クト……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 概ネ戶主家族ノ關係ハ親族關係ガアルノデゴザイマスガ、家族ト云フモノハ戶主ノ親族デナケレバ家族ニナレナイト云フモノデハゴザイマセヌカラ、現行民法ハソレデアリマスカラ戶主ノ親族ニ非ザル家族ガアルト云フコトノ想像ガ出來ルノデアリマス

○齋藤隆夫君 現行民法ノ第七十三條ニ依リマスルト、家族ト云フモノハドウ云フモノデアアルコト云フコトガ規定シテアリマス「戶主ノ親族ニシテ其家ニ在ル者及配偶者之ヲ家族トス」ト云フンデアリマスカラ、其以外ニ家族ト云フモノノアルベキ譯ガナイト思ヒマラス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレガ通則デゴザイマスルガ、サウデアナイノモアリマス、他ノ條文……

○司法省參事官(山内確三郎君) 七百三十二條ノ第一項ハ「戶主ノ親族ニシテ其家ニ在ル者及ヒ其配偶者ハ之ヲ家族トス」トシデアリマスガ、二項ニ「戶主ノ變更アリタル場合ニ於テハ舊戶主及ヒ其家族ハ新戶主ノ家族トス」トアリマシテ、是ニハ親族關係ハ要件トナツテ居ナイコトニナツテ居リマス

○齋藤隆夫君 サウスルトヤハリ第十九條ニ「戶主及ヒ家族ノ氏名ノ記載ハ左ノ順序ニ依ル」ト云フヤウナ工合ニ書イタル、サウシテ置イテ「戶主ノ親族ニ非サル者」ヲ第六ニ加ヘテ居リマスカラシテ——親族ニ非ザル家族ト云フ意味デスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) サウデス

○齋藤隆夫君 モウ一ツ問フテ置キマスガ、婚姻若クハ養子縁組ニ依テ他家ニ轉籍セラル、場合ニ於テハ、前ノ戶籍簿ニ於テ其趣ヲ記載スル、ソレガ離縁又ハ離婚ニ依テ復籍シタ場合ニ於テハ、轉籍先ノ戶籍簿ニ又其趣ヲ記載シナケレバナラス、其抹消若クハ變更シタル所ノ記載ハ、永ク保存シテ置カル、ヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、或時期ヲ經ツタナラバ全ク削ッテシマウヤウニセラル、ノカ、例ヲ舉ゲテ申シマス、サウ云フヤウナ縁組若ハ結婚ト云フコトヲ本籍ニ書イテ置イテ、其ノ本籍ヲ變更スル場合ガアル、他ニ變更スル時ニ前ニ抹消シタル所ノ部分ハスツカリ根本的ニ消シテシマツテ持ッテ行カレルト云フコトニナリマスガ、其儘殘シテ置イテ持ッテ行カレルト云フコトニナリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 嫁ニ行ツタ人間ハ嫁入先ヘ入籍ニナリマスカラ、實家ノ方ノ戶籍ハ抹消致シマス、サウシテ其實家ノ方ガ轉籍ヲ致シマシテ、新ニ戶籍ヲ作りマス時ニハ、其嫁ニ行ツタ娘ハ今度ハ轉籍地ノ方ノ戶籍ニハ除カレテ居リマス、ソレデスカラ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、轉籍致シマシタ時ニ轉籍地デ作ル戶籍ト云フモノハ消シタモノハ皆除キマスカラ、現存シテ居ル戶籍ダケシカ載ラヌト云フコトニナリマス、戶籍ガ綺麗ニナル

○齋藤隆夫君 サウスルトチヨット御尋シマスガ、例ヘバ嫁ニ行ツテ離縁ニナル、サウスルト其離縁ニナツタト云フ事實ヲ社會ニ隱サンガ爲ニ轉籍スル、轉籍スルト轉籍シタ先ノ戶籍法ニハ此娘ハ嫁ニ行ツテ還ツタモノト云フコトハ見エヌコトニナル

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ見エマス、嫁ニ行ツテ離婚ニナツテ戻ッテ來マス、今度ハ實家ノ方ニ記入スルコトニナル、其記入シタ人ノ頭ニハ何月何日離婚シテ依ツテ居出ガアツタカラソレ何月何日受付テ此ニ載セルト云フコトガ書イタル、其載セタ儘ノ戶籍ガ今度親父ガ他ヘ轉籍スレバ其現在ノ戶籍ノ儘轉籍地デ登錄スルカラ、ヤハリ嫁ニ行ツテ戻リデアルト云フコトハ分ル

○齋藤隆夫君 サウスルト嫁ヲ取ツテ離縁シタ方ハドウナル、ソレハ實家ノ方ニ還シテシマウ、サウシテ嫁ヲ取ツタ方ガ轉籍スル、サウスルトソレニハ載ツテ居ラヌデスネ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ嫁ヲ取ツタ時ニ載セマシテ、離縁シタ時ニ出テ行ツデシマツタ、出テ行ツデシマツタモノハ消ヘタ戶籍ダカラ新戶籍編成ノ時ニハ消エタモノハ移サヌト云フ先程ノ理由ニ依ツテ載リマセヌ

○齋藤隆夫君 宜ウゴザイマス

○加瀬禮逸君 十八條十二號ニ付テチヨット御尋シタイ、十二號ニ「他家ヨリ入リテ戶主又ハ家族ト爲リタル者ニ付テハ其原籍、原籍ノ戶主ノ氏名及ヒ其戶主ト戶主又ハ家族トナリタル者トノ續柄」トアリマシテ、此他家ヨリ入ッテ家族トナツタ者ニ付テハ、原籍ダケテ家族稱ハ宜カラウト思フ、原籍ノ戶主ノ氏名ノ下ニハ族稱ノ二字ガ要ル場合ガアルデハナイカト思フ、ソレハ華族カラシテ平民——今平民ハアリマセヌケレドモ、無族稱ノ戶主ノ所ニ家族トナツタ者ニ付テハ、其人ノ名前ハ無論平民ニナルノデゴザイマスカラ、

別ニ族稱ヲ稱スル必要アリマセヌガ、其人ノ出マシタ家、即チ原籍ノ戸主ニ付テハヤハ  
リ華族ノ子デアルトカ、士族ノ子デアルトカ云フコトヲ書クベキ必要ガアラウト思ヒマスガ、  
絶對ニアリマスマイカ

○司法省參事官(山内確三郎君) ソレハ曾ア一ツノ問題ニナッタノデアル、併ナガラ  
此十二號ニ於テハ其出所ガ華族デアルカ、或ハ平民ノ家デアルカト云フコトハ、書カ  
イデモ宜クハアルマイカ、成ベク餘計ノ文字ヲ避ケテ、免ニ角戸主ノ名前ガ分レバ、出  
所ハ結局原籍ヲ見レバ分ルノデアリマスカラ、成ベク記載ヲ省略スルコト云フ意味ニ於テ、  
其點ダケハ此カラ削リコトニシヤウト云フコトニナッテ居ル、即チ婚家ノ戸籍デハ其ノ出所  
ハ分ラヌガ、併ナガラ原籍ノ戸主ノ氏名ガ分ッテ居レバ、結局出所ト云フモノハ分ル答  
デアルカラ、ソレハ書カヌト云フノ理由デアリマス

○加瀬禮逸君 續イテ御尋致シマス、十九條ニ付テ現行法ノ百七十七條ニ該當スル  
モノデアリマスガ、百七十七條ノ第三項、之ヲ削リマシタ理由ヲ承リタイ、詰リ「直系尊  
屬直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位ニ依リ親族間ノ  
順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ其順序ヲ定ム」此規定ヲ削リマシタ理由ヲ……  
○司法省參事官(山内確三郎君) 實ハ親族間ノ順位ニ依テ戸籍ニ記載スルコト云フ  
コトガ法律ニアリマスガ、其順位ガ何ゾト云フコトニナリマス、實ハ非常ニムツカシイモノ  
デアル、ソコデ實際取扱ヒマス時ニ、養母ト或ハ實母ト云フモノガアル時ニ、養母ガ上デ  
アラウカ實母ガ上デアラウカ、或ハ又嫡母ト生母ハ何方ガ上ニ書カカ、殊ニ實例デオカシ  
クナリマスノハ、家ノ内ニ養母實母嫡母ト云フヤウナ者ガ澤山アル場合ニ、ドウ云フ風ニ  
シテ書カカト云フコトデ何時モ疑問ガ起ル、法律ニ書イテアルカラ何トカ解釋致サナケレバ  
ナラヌケレドモ、解釋ノ根據ガナイ、ソレヲ將來記載スルニシテモ其順序ハ事實ノ問題トシ  
テ然レバ決定メルコトニハ考ヘテ居リマスケレドモ、法律ヲ以テ決定メルコトニナルト、同時ニ  
順位ヲ法律ヲ決定メナイトチヨット無理ニナル、此ノ爲ニ疑義百出シテ實ハ取扱ニ困ッテ居  
リマスカラ、其記載ノ順序ハ適宜之ヲ定ムルト云フコトニシテ、此ノ法律上ノ文字ハ避ケ  
ヤウト云フコトデ創ツタ次第

○加瀬禮逸君 サウスルト戸籍吏ノ見込デ、兄ヨリ弟ヲ先ニ書イタリ、妹ヲ姉ヨリ先ニ  
書イタリスルコトモ宜イノデスカ  
○司法省參事官(山内確三郎君) 法律ニハ何等ノ制限ハシテ居リマセヌケレドモ、ソ  
レハ記載例等ニ於テ或ハ省令ヲ以テシテモ適宜ノ順序ハ定メル考デ居ル、併ナガラ親族  
間ノ順位ニ至ルト實ニ分リ兼ネル  
○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 唯今ノ十九條ノ二項ニアルヤツハ勝手次第  
ナ事ハ出來ナイ、戸主ノ弟ト兄トカ云フ問題ノ……  
○荒川五郎君 先程鈴木サシニモ聞イタシ、今加瀬君カラ聞カレマシタガ、原籍ノ簿  
冊ヲ見レバ分ルノデアルガ、公文例トカ云フモノニマデ必ズ人ノ名前ヲ書ケバ、子爵ナラ子  
爵何某ト云フコトヲ、士族ハドウデモ華族ナラバ華族ノ名前ヲ書ケバ、族稱ヲ書クベキモ  
ノト思フノデスカ、加瀬君ノ今ノ御質問ガアツタノデスカ、モウ一應御説明ヲ願ヒマス  
○司法省參事官(山内確三郎君) 前ニ鈴木政府委員ヨリ答ヘラレマシタガ、公文  
式ニ何カサウ云フモノガアルト考ヘマスガ、併ナガラ戸籍ニ記載スルコトハ、其公文式ニ

依ルモノデハナイノミナラズ、此ノ戸籍簿ハ明ニ族稱ヲ書クベキ場合ハ十八條ニ明ニ定ッテ  
居リマス、ソレ以外ノモノハ即チ族稱ヲ書クモノハ明ニシテ居ナイ、書カナイト云フ法律  
ノ精神ニナッテ居リマスカラ、十二號ニ於ケルノハ原籍氏名トノミ止メテアリマスカラ、族  
稱ハ要ラナイト云フ立案ノ趣旨デアリマス

○荒川五郎君 此戸籍法ノ公文書ヲ發スル場合ガアルカナイカ知リマセヌガ、例ヘバ  
後見人保佐人ト云フヤウナ者ノ文書ヲ發スル場合ニ、此戸籍ノ幼者準禁治產者ニ  
對シテ發スル時ニ、此戸籍簿ニ於ケル者ノ族稱ガ分ラヌコトガアル、サウスルト其時分ニ  
ハ戸籍簿其モノダケニハ必要デナクテモ、ソレニ依テ文書ヲ發スルコトニハ必ラズ公文例  
ニアルトソレヲ知ルニ此所ニ書イテアル方ガ相當ト思ヒマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 先程公文ニ記載サレルト云フコトヲ申シマシ  
タノハ、是ハ行政事務ノ取扱上サウ云フコトニナッテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタノデア  
リマシテ、總テノ官公文書ニハ必ラズソレヲ載セナケレバナラヌト云フマデノ法規ハナイト  
思ヒマス、唯行政事務ヲ取扱フ文書トシテ主ニ官文書ト思ッテ居リマスガ、其文書ニ於  
テハ爵アル者ハ宛名ニ爵ヲ書クト云フヤウナコトニ、詰リ内規ノヤウナモノガ出來テ居リマ  
スデ、必シモ爵アル者ハ書カナケレバ文書ノ形式ニナラヌト云フコトヲ面倒ナコトデハナイ  
ノデアリマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 少シ補ッテ置キマスガ、苟モ戸主ナリ家族ナリ其  
者ノ族稱ハ戸籍デハ分ルコトデアリマス、戸主ガ平民デアルト華族デアルト云フコトニ依  
テ、戸籍簿上其家族ノ族稱ハ分リヌ、第十二號ノ場合ハ華族ガ入ッテ平民ノ家ニアレバ  
平民カドウカト云フコトハ明ニシテナイガ、其者ガ戸主ガ家族デアツタカ否ヤト云フコトハ原  
籍ヲ見レバ分リマス、其家ニ入ッテ以上ハ其家ノ族稱ヲ申スノデアリマスカラ、其家ノ族  
稱ハ戸籍ニ明ニシテナリマス、ソレニ依テ各人ノ族稱ハ明ニ分ルコトニナッテ居リマス

○荒川五郎君 他家カラ入ッタ者ハ各原籍ノ其處ノ者ニナルガラウト思フガ、保佐人  
デモサウデス、ソコヘ入ッタ人ノニ就テハドウナリマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 原籍ノ戸主ハ其家ニ籍ガアルノデアリマスカラ、其  
人ノ籍ヲ見レバ分リマス、ソレヲ其人が士族デアルカ平民デアルカ明ニナリマス

○加瀬禮逸君 チヨット落シマシタカラ問ヒマスガ、十八條ノ第十二號後見人保佐人  
ニハ此時ニハ住所ヲ記載セシメテ置ク方ガ宜イト思フ、何ゼカト云フト本籍必シモ住所  
ナラズデアルカラ、其住所ヲ書カシタ方ガ便利デアラウト思フ、現行法ニ於テモサウデア  
ルカラ、之ヲ記載セシメル方ガ宜イト思ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレモ一説デゴザイマスガ、住所ノ變更ハ元  
來斯ウ云フ議論モアリ、住所本則主義ニ就テ問題トナツタコトモアツタノデゴザイマスガ、  
ソレハ此改正案ニハ問ハヌコトニ致シマシテ、ヤハリ現行法通り定ムルコトニ致シマシタ、  
而シテ住所ハ諸所ニ變更スルコトガ出來ル、其上ニ於テ頻々住所ヲ變更スルト、ソレニ  
基ク手數ノ上ニ煩雜ヲ來シマスカラ、斯ウ云フコトデ住所ハ記入シマセヌ

○島田俊雄君 身分登記簿ニ登記スベキ事項ノコトデ一二ツ質問シマスガ、此認知  
又ハ認知ノ取消ナドデアリマス、今度ハ此認知取消ト云フモノハ十八條ノ十四號ニ包  
含シテ居ルノデスカ、又外ニ別ニ規定ガアリマスカ、チヨット見當リマセヌガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 胎兒認知ハ戸籍ニハ記載致シマセヌ、出生シタル子供ヲ認知致シタル場合ニ於テハハリ戸籍ニ記載スルコトニ致シマス、ソレハハリ十四ハ入ルコトニナリマス

○島田俊雄君 政府委員ノ前ノ御方ニ對スル御答ノ中ニ、住所本籍云々ト云フ言葉が出マシタガ、實ハ其際ニ質問ノ機會ヲ失ッテ居リマシタカラ、ソレニ就テ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、第九條ニハ單ニ市町村ニ本籍ヲ定メタル者ト云フコトデアリマシテ、此定メルト云フコトハ各人ノ絕對自由ト云フ意味ニ政府デハサウ云フ御考ニナッテ居ラル、ノデアリマセウカ、ソレカラ一般ノ場合ニ就テハ實際ノ例デ申シマス、本籍ヲ定メルト云フコトニ就テハ、多クハ其人ノ特殊ノ因縁ノアル場所、自分ガ生レタカ長ク其所ニ住所ヲ定メテ居タト云フヤウナ因縁ノアル場所ニ依ル、サウ云フ所ヲ以テ本籍トスルモノデハナカラウト思ヒマス、ケレドモ此所ニ斯ノ如キ規定ヲシタノハ、此ヤウナ意味ニ本籍ヲ定ルト云フコトニシテアルノハ、本籍ノ絕對自由ト云フコトヲ承認セラレテ居ルカドウカ、ソレカラ唯今住所ヲ以テ本籍ト云フ主義ニ就テ議論ガアッタト云フ話デアリマスガ、其議論ガアッタト致シマスレバ、左様ナ議論ガアルニモ拘ラズ、此所ニ本籍ト云フモノヲ住所以外ニ求ムルト云フ主義ヲ採用サレタ理由、竝ニソレニ附屬シテ是ハ今朝花井君カラチヨット御質問デアリマスガ、戸籍ト云フコトノ仕事ハ一面ニ於テハ國勢調査ノ本ニナルト云フ意見モ含シテ、戸口調査ト云フモノ、我國ノ絕對唯一ノ材料ニナリマス、ソレ等ノ點ニ就テモ結付キノ議論モアラウト思ヒマスカラ、此場合御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 本籍ヲ定メマスニ付キマシテハ、全ク戸主ノ隨意ニ定メシメルト云フ主義ヲ採ツタデアリマス、固ヨリ法定のニアリマスルモノハ其法律ノ定メタ通りニ從ハナケレバナラヌト云フノハ、例ヘバ妻ハ夫ノ家ニ入ルトカ、入夫ハ妻ノ家ニ入ルトカ、或ハ子ハ父ノ家ニ入ルトカ云フヤウナ、斯ウ云フ法定の言ヒマスルカ、法律デ極メテアルモノハ、隨意ニ自分テ勝手次第ニ家ヲ成サザルニモ拘ラズ、本籍ヲ定メルトコトハ是ハ勿論出來マセヌガ、一家ノ戸主トシテ本籍ヲ定メルトハ、ソレハ絕對の自由デ出來ルト云フ主義ヲ認メマシタ、本人ガ之ヲ定メルト付キマシテハ、成程祖先ノ地デアルトカ、或ハ自分ガ大變由緒ヲ有ッテ居ルカラト云フノ定メルカ知レマセヌガ、ソレハ各人ノ隨意デアリマシテ、何處ヘ定メテモ宜シイト云フ主義デゴザイマス、而シテ此住所本籍主義ヲ可ナリトスルヤ、或ハ隨意本籍ヲ設定スルコトガ出來ル主義ヲ是トスルヤト云フコトニ付キマシテハ、是ハ議論ノアル問題デアリマシテ、本草案ガ住所本籍主義ヲ採リマセヌカッタ次第ハ、唯今島田サンカラモ御話ガアッタ通り、此住所ト云フコトハ生活ノ中心トナリ、生活ノ根據トナッテ、各人執ルトコロノ職業ニ依ッテ住所ノ移轉ト云フモノノ必要ヲ感ジテ來ルコトガアル、サリナカラ本籍ト云フモノハ概ネ自分ガ產湯ヲ流シタ土地デアルトカ、或ハ自分ノ祖先ガ其處ニ本籍ヲ有ッテ居タト云フヤウナ由緒ニ依ッテ、本籍ヲ極メルト云フノガ今日各人ノ思想デアアルマイカ、例ヘバ自分ハ長州ニ生レタカラ、身ハ東京ニ住ンデ居ッテモ、依然トシテ山口縣人タルコトヲ得タイト云フヤウナ其恩望ガアルノガ今日ノ人情デアアルマイカ、然ルニ法律ニ於テ住所ノ變動ト共ニ本籍ガ移動スルト云フ事柄ハ、其觀念ニ副ハヌヤウナコトニナルデアラウ、ドウモヤハリ山口縣人ハ何處マデモ山口縣人、鹿兒島縣人ハ何處マデモ鹿兒島縣人ト、斯ウ云フ風ニスル方が其土地

ニ對スル由緒ヲ失ハズシテ、其土地ニ對スル密接ナル關係ヲ持タシムルト云フ必要ガアリハセヌカト云フ議論ノ下ニ於キマシテ、此本籍ハ各人ガ勝手ニ定メルトコトガ出來ルト云フコトニ致シテ、住所ノ移轉ト共ニ本籍ヲ移轉セシムル主義ニ依ラナカッタ次第デアリマス

○島田俊雄君 私ハモウソレ以上ノ議論ニナリマスカラ多クヲ述ベマセヌガ、唯是ハ先達チヨット身分登記ノコトニ付テモ申上ゲタ如ク、唯今ノ御説明ニ依リマシテモ家族制度ヲ維持シタイト云フ政府ニ於テ強イ御希望ノアツタ、ソレ等ノ點カラシテ斯ノ如キ主義ヲ御採用ニナッテ居ル、即チ本籍ヲ定メルト付テ住所以外デアッテモ本籍ヲ定メルト云フ主義ヲ御採用ニナッテ置キタイノハ、政府ノ御考ヘニナッテ居ルヤウナ風ニ、社會ノ事物ハ進行シテ居ラナイ、實際ニ於テ此家族制度ト云フモノハ法律ハ其儘デアッテモ、法律ヲ死骸ニシテ置イテ崩レテ行キ居ルト云フコトノ實情デアリシ、又一面ニ於キマシテハ此本籍ヲ成程由緒ノアル所ヘ定メテ置イテ、山口縣ニ生レタ者ハヤハリ其緣故ニ依ッテ山口縣ニ本籍ヲ定メルトコトハ宜イヤウデアアルガ、ソレハ一面ノ理窟デアッテ、他ノ一面ニ於テハソレト同時ニ多クノ人ガ山口縣ニ生レタ者ハ社會ニ賣レガ宜イト云フ時代ニハ、無暗ニ自由ニ選定スルコトガ出來マスルカラ、奥州ニ生レタ者ガ山口縣ニ戸籍ヲ移シテ山口縣人ナド、云フヤウナ者ガアルノデアリマス、ソレ等ニ付イデハ御考ヘニナッテ居ラダラウガ、單ニ家族制度維持ト云フ希望ニ依ッテ法律ガ出來テ居ルト云フト、今ノヤウナ疑ガ挾マリハセヌカト思ヒマス、是等ノ點ニ付テハ特別ナ御答辯ヲ得タイトハ思ヒマセヌガ、前カラモ少シク政府委員ト私共ノ見解ノ違ガアルト思ヒマスカラ、繰返シテ其事デケラ申上ゲテ置キマス、若シ御考究ガ出來ルナラ御考究ヲ願ヒタイ

○野村嘉六君 此十八條デアリマス「戸籍ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス」現行戸籍法ニ依リマス「戸籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル」ト斯ウ書イデアアルノデアリマス、所ガ此改正案ニ依レバ「第二章第二條」戸主トシテ一戸毎ニ之ヲ作ル」ト云フコトニナッテ、此法文ノ體裁カラ言フト、ドウモ今度ノ方ハ進歩シタヤウニ感ジラレル——感ジラレマスガ、此戸主トシテ一戸毎ニ之ヲ作ルト云フコトガアルノデアリマスガ、此戸主トシテ一本ト云フコトハ、此法律文トシテハ立法ニ註釋ヲ加ヘタヤウナ感ガアルガドウデアリマセウカ、何故ナレバ民法ノ此規定ニ於テ、既ニ此戸主及ビ家族ト斯ウシテ實體法タル民法ニハ戸主トシテ一戸毎ニ之ヲ作ルニ從屬スルモノデアルト云フコトハ、幾箇條ヲモ通ジテ其主義ハ一貫シテ居リマス、ソレカラ此立案ニ依リマシテモ、總テノ點ヲ見マシタナラバ其事ハ含マレテ居ル——含マレテ居ルカラシテ此第九條ニ「戸主トシテ一本ト云フコトヲ書カナクモ、ヤハリ現行戸籍法ノ如キ詰リ「戸籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル」此意味ニ於テサウシテ此第九條ヲ拵ヘタナラバドウデアアルカ、斯ウ云フ考デアリマスガ、政府ニ於テハヤハリ此處マデ念入レナケレバ誤解ヲ生ズルト云フヤウナ虞ガアルノデアリマセウカ、又島田君ノ言ハレルヤウニ家族制度ヲ強ムルタメニ「戸主トシテ一本ト云フヤウナコトヲ御書キニナッタノデアリマセウカ、チヨット念ノタメニ御尋致シマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 事ノ明確ヲ期スルタメニ「戸主トシテ一本ト云フ文字ヲ加ヘタノデアリマス、尙附加ヘテ申シマスレバ、島田君ノ言ハレル通り、是等ノ文章カラ見マシテモ、成ルベク家族主義ヲ本位ニ採ルト云フコトヲ現ハス意味モナイノデハ

アリマセヌ

○熊谷直太君 午前ニ缺席致シマシタカラ能ク分リマセヌデスガ、唯今第二章ヲ御質問ニナッテ居リマスルガ、一章ニ付テモ多少私ハ聞キタイコトガ殘ッテ居リマス、ソレハ今機會ヲ御與ヘ下サルデセウカ、或ハ全編済シタ後ニ機會ヲ御與ヘ下サイマスカ  
○委員長(長島馨太郎君) ソレハ今アナタガ仰シヤッタ通り、バツト質問ガ済シタ後デ以テ……

○野村嘉六君 三十八條ニ、ヤハリハ三章ノ中デアリマスガ「第三十六條ノ書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム」ト云フコトガアルノデアリマス、此書類ノ保存期間ハ、保存スベキ書類ニ付イテハ、現行法ニ於テハ大抵十年トカト云フコトヲ規定シタルノガ多イノデアリマス、所ガ此三十六條ノ書類ハ詰リ身分登記ト戸籍ト合體シテ出來上ッダヤウナ最重要ナ書類ト思フデゴザイマス、ソレデ此書類ニ付テハ政府デハドレ程ノ保存期間ヲ存ジテ、サウシテソレガ適當ナリト云フ御考デアルカ、又之ニ對シテ各地方ノ實際事務ヲ執ッテ居ル人ノ意見ヲ徵サレタカドウカ、其二點ヲ伺ッテ置キタイ、何故ナラバ時々古ヒ書類ガ必要ナコトガ聞クアリマスカラ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 未ダ此保存期間ニ付テハ確定議ヲ纏メマセヌガ、イロ／＼議論ニ上リマシタモノヲ申シマスレバ、先ヅ三十年カ五十年位ノ期間ヲ置カナケレバナルマイト云フ議モアリマス、未ダ定メテハ居リマセヌガ、成ベク長ク置カウト云フ精神ハ定マッテ居リマス

○熊谷直太君 三章ハ大概盡キタヤウデスガ、第四章ヲ通ジテ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 本節ニ付テ改正ヲ加ヘマシタ點ハ先ヅ四十四條デアリマス、四十四條ハ現行法ノ四十二條ノ二項ニ該當スルモノデ、四十二條ニ據ルト寄留地ガナインデ、唯所在地ト云フ意味ニナッテ居リマス、ソレデアリマスカラ寄留地ヲ入レル方ガ便利デアラウト云フノデ「寄留地又ハ所在地」ト入レマシタ、從ッテ寄留地所在地ヲ入レマシタトコロカラ、二項ガ生ジテ來ルコトナリマス、ソレカラ四十七條デアリマスガ、四號ニ「居出人居出事件ノ本人及ヒ其本人ノ父母ノ職業」ト云フ殊ニ職業ノ記載ヲ爲スコトヲ命ジマシタ、現行法ノ各論ニ於テ職業ノ記載ト云フコトヲ省イテ、サウシテ此處デ總テ職業ヲ記載セシムルコトニ改メマシタ、從ッテ各論ノハ除イテアリマス、ソレカラ二項ノ「居出事件」ニ因リ「云々」ト云フ此條文ハ現行法ニ據レバ各論ニ規定シテアリマス、其各論ノ規定シタルノヲ總則ノ處ニ纏メテ斯様ナコトニ定メタルデアリマス、ソレカラ四十九條ノ但書、之ハ新設ノ規定デアリマス、即チ單純ナル事實關係ニ付テハ、未成年者又ハ禁治產者モ之ヲ自分デ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ以テ便宜ヲ圖ルガタメニ此改正ヲ企テマシタ、ソレカラ五十四條、之ハ現行法ノ五十一條ニ該當スルノデアリマスガ、現行法ニ據レバ「居書ニハ本法其他ノ法令ニ定メタル事項ニアラザレバ之ヲ記載スルコトヲ得ス」トアルノヲ「本法其他ノ法令ニ定メタル事項ノ外戸籍ニ記載スベキ事項ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルモノハ」ト改メテ現行法ノ缺點ヲ多少補ナツタ趣意デアリマス、ソレカラ五十五條ハ現行法ノ五十二條ニ該當スルノデアリマス、之ハ現行法ニ據リマスルト、御承知ノ通り二十九條ガ準用サレテ居リマス、其二十九條ニ據ルト居書ニモ一々居書ニ記載スベキ數字ハムツカシイ壹貳參拾ノ字ヲ用非ナケレバナラヌノデアリマスガ、此點デ隨分申請者ヲ苦シメルコトガ容易ナラヌカラ、一二三十ト云フ文字ハドンナ文字ヲ用非テモ宜イト云フ主義ヲ執ッテ、故ニ二十八條ノ一項及ヒ三項ノ規定ト致シマシタ、ソレカラ五十六條ハ一項二項ハ現行法ノ五十三條其儘デアリマス、唯三項ニ於キマシテ新設條文トナッテ居リマス、之ハ市町村長ガ居書ノ謄本ヲ作ッテ之ヲ居書ニ代ヘルト云フ便利ノ途ヲ開イタ次第デアリマス、ソレカラ五十八條、此規定モ其趣意ニ於テハ現行法ニモ規定シテアリマスガ、各論ニ別々ニ規定シテアリマス、養子縁組又ハ婚姻ト云フモノヲ一緒ニ纏メテ總テノ行爲即チ居出ヲ爲ス事件ニ付テ、同意承諾ヲ要スルト云フヤウナ場合ナラバ、書面ヲ添附致サナケレバナラヌガ、其事ヲ一纏メニシタダケニ過ギマセヌ、以テ法文ノ簡潔ヲ圖ル目的デアリマス、ソレカラ六十二條ハ現行法ノ六十一條ニ該當スルノデアリマシテ、三箇月ヲ一箇月トシタノデアリマス、ソレハ大抵一箇月位デ宜カラウト云フ趣意デ斯ク短縮致シマシタ、ソレカラ六十三條、之ハ新設デアリマス、尙茲ニ合セテ申上テマスルガ、期間ノ點ニ付テ多少ノ變更ヲ加ヘタコトナリマス、其點ハツマリ期間ノ問題デ、其定メ方如何ニ依ッテソレデ定マルノデアリマスガ、左程長クスル必要ハアルマイ、現行法ニ於テハ出生居出ハ十日ニナッテ居リマスカレドモ、之ハ世俗名ヲ附ケルノハ大抵七夜位デアリマスカラ、十日デハ少ナカラウト云フノデ十四日ニ定メマシタ、ソレカラ六十四條ノ三項ハ之ハ新設條文デアリマシテ、先程ドナタカノ御質問ニ對シテ答ヘマシタガ、催告スルコトガ出來ナイ若クハ催告スルモ效ナキ場合ニ於テハ、三十九條ノ條文ヲ準用スル途ヲ開キタイ、以テ其缺ヲ補フト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ六十五條ハ之モ新設條文デ、居出ニ付テ缺陷ガアッタキニ、其缺陷ヲ補ハシムル規定デアリマス、之ニ依ッテ唯一途ニツマラヌモノガ記載ニ漏レテ居ッタカラトテ一々却下スルコトハ宜クナイカラ、缺陷ノ部分ヲ追完サセレバ宜イト云フ途ヲ開クコトニ致シマシタ、ソレカラ六十七條ノ二項ガ新設條文デアリマシテ、ヤハリ三十六條ノ書類ノ閱覽若クハ證明書ノ請求ト云フコトニ對シテ開イタ次第デゴザイマス、ソレカラ從ッテ此三項モ又新設條文デアリマス、先ヅ大體申上レバ左様デゴザイマス

○荒川五郎君 唯今ノ第六十五條ノ居書ノ缺陷アル時分ニハ追完ヲ爲サシメマスガ、間違フタリ多カッタリト云フノハヤハリソレヲ直ホサレマスカ  
○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 戸籍ニ記載スベキ事項ヲ明確ナラシムルニ必要ナルモノハヤラセ、記載ノ要ライモノハ追完ハ勿論サセナケレバナラヌ、餘計ナモノヲ書イテ來タカラト云フテ一々ソレヲ却下スルト云フマデニ取扱フ積リデアリマセヌ  
○島田俊雄君 第四十七條ノ居出人ノ居書ニ記載スベキ事項ニハ、居出人ニ付テ族稱ト云フモノガアリマセヌガ、ソレハ必要ハナイト云フノデアリマスカ  
○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ尙ホ各論ノ方ニマダ規定シタモノモアリマスカラ……

○司法省參事官(山内隆三郎君) 此各論ノ所デハ現行法デハ族稱ヲ書クベキ事ニ明カニ書イテアリマス、併ナガラ脱ケル事ガ屢アリマスノデ、ソレデ案デハ即チ斯ウ云フ場合ニハ五十四條ノ族稱ハ戸籍ニ記載スルコトガ必要アリトスレバ、其必要ナル部分ニ付テノミ五十四條ニ依ッテ居出居書ニ記載シナケレバナラヌ、又全般ニ付テ必要デナイモノハ族稱モ要ラヌ、必要ナル場合ニ於テハ書クコトニ致シテ、今日ノ各論ニ列舉シタ場合ニ



脱ケル場合ハ屢アリマスカラ、是ヲ補フノデアリマス

○島田俊雄君 是ハ市町村長即チ取扱者ノ自由裁量ニナリマスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 法律上戶籍ニ記載スルコトガ必要ナル事項アレバ、決シテ自由裁量ヲ書カクテモ宜イ書イテモ宜イト云フノデナクテ、必ズ五十四條テ法律上記載スルコトヲ必要トスル

○島田俊雄君 尙四十七條ニ付テ先達デモチヨット御尋シマシタガ、其部分ニ付テハ職業ニ付テ此機會ニ御一考ヲ願フデ置キマス、是ハ先達デノ政府委員ノ御説明デハ、職業ヲ記載セシムルト云フコトハ職業ガアレバ同名同姓ノ人ナクハ區別シ易イト云フヤウナコト、ソレカラ統計材料ト云フヤウナ方面カラシテ——人頭統計ヲヤル場合ニ於テ職業別ト云フコトハ必要ナ場合ガアル、サウ云フ注文ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、統計材料トシテノ點ニ付テハモウ今日ハ申シマセヌガ、此職業ヲ記載シテ置クト云フコトガ、同名異人ノ區分ヲスルト云フコトニ付テ便宜ガアルト云フ御説ニ對シテ御一考ヲ願フデ置キタイト思フ、又直チニ御答辯ガ出來レバナンデゴザイマスガ、成ベクナラバモット満足ノ出來ルヤウナ御答辯ヲ御研究ヲ願ヒタイ、昔ノヤウニ其職業ガ世襲ト云フ風デアッタリ或ハ家ノ職業ガアリマスル場合ニ於テ、或ハ届出人ヲシテ職業ヲ記載スルト云フコトヲ——サウ云フ場合ニ於テ同名異人デアルト云フコトヲ證明スル場合ニハ便宜ニナルカ知レマセヌガ、現在我國ノ制度ニ於テハ、言フマデモナク職業ハ自由デアル、ソレカラ社會ノ生活狀態カラシテ、職業ト云フモノハ常ニ轉々スルモノガ多イ、職業ノ變遷スルモノガ多イノデアリマスカラ、今日マデ職業ヲ記載シテモ、亦段々違フタ職業ニ從事スルト云フ場合モ隨分多カラウト想像スルノデアリマス、從ツテ職業ヲ記載スルト云フコトハ、政府ガ期待シテ居ラレ如ク同名異人ヲ區別スルト云フヤウナ場合ニハ便宜ニナルカ知レヌト云フコトヲ想像シ得ルト共ニ、又今度ハ同一人ヲ別人ノ如ク職業ノ爲ニ思ハシムルト云フ結果モ是ガ爲ニ生ジテ來ルト云フコトヲ反面ニ於テ考ヘナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラシテ統計材料ニヤト云フコトノ點ヲ措キマシテ、職業ヲ記載スルコトダケノ理由ニ付テ之ヲ考ヘテ見レバ、其理由ハ先達ノ御説明ノ時デハ乏シカッタヤウニ思フ、或ハ殆ド水掛論ニナルト云フヤウニ思ヒマスガ此點ニ付テ一ツ御研究ト云ヒマスカ御考ヲ願フデ置キマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 職業ヲ記載セシムル目的ガ、必シモ移動判別ノ唯一ノ方法ト云フ譯デ先日ハ申上ゲタ次第デアリマセヌ、此職業ノコトニ付テハ過般山内參事官カラ申上ゲタ通り、統計ノ必要カラシテ入レテ置イタトテ、左程戶籍ガ繁雜ニナルト云フ譯デアリマイカラ、統計局ノ要求モアルカラ此處ニ入レヤウ、斯ウ云フノデゴザイマス、是ガ移動判別ノ標準ニモナルト云フノハソレハ附加ノ理由ニ過ギマセヌデ、必ズシモ是ニ依ッテ移動判別ヲスル唯一ノ方法ト云フ趣意デハナイノデゴザイマス、マア幾分カ理由ヲ附加シテ申シマセレバ、移動判別ノ用ニモ供セラレ得ルト云フコトニ過ギナイノデアリマスカラ、此記載致シマスル主ナル理由ハ統計材料ニ供スルノガ主デア

○島田俊雄君 統計材料ニスルト云フノガ主ナル理由デアルト云フ御説デアリマスレバ、其點ニ付テ御研究ヲ願フデ置キタイ、御注文申上ゲテ置キタイ、職業ノ事ハ統計材料トシテハ御承知ノ通り人口統計ハ現在取テ居ルト云フコトハ御承知デアリマセウガ、然ルニ此戶籍法ハ一方ニ於テ本籍主義ヲ採用シテ居ルノデアリマスカラ、本籍ト云フモ

ノニ於ケル職業別ヲ調ベテモ、統計材料トシテハ効能ガ薄イ、殆ドナイ、現在住居シテ居ルモノニ就テ職業ヲ調ベテ、ソレデ初メテ効能ガアルト云フコトハ、統計學者ハ皆認メテ居リマス、本籍ノ職業ハ効能ガアルカト云フト、原籍地ニハ居ラヌ、本籍ノ職業ハ何ノ効モナイ、然ルニ一方ニ於テ本籍主義ト云フモノヲ取ツテ、本籍ニ於テ住所即チ本籍主義ヲ採用シテ、他ノ一方ニ於テ職業ダケニ付テ統計材料ヲ得ヤウトシテモ、ソレハ甚ダ不完全デアリマス、其點ニ付テハ專門デモナイヤウデアリマスカラ、尙統計材料ニ付テ重キヲ置クナラ、其意味ニ於テモウ少シ御研究ニナツテ、満足ヲ得ラレル御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○熊谷直太君 小サイ問題デゴザイマスガ、島田君カラ質問ノ四十七條ノ族稱ト云フモノガ書イテナイノハ、唯今政府委員カラ御答ニ依ルト、或場合ニ於テ書クト云フ御答ノヤウニ承ハリマシタガ、其通りデアリマスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) サウデアリマセヌ、各論ニ出生或ハ死亡ナリ其他居出ノ各節ニ於テ、現行法ハ族稱ト云フモノヲ書イテ居リマスガ、前ノ關係ノ條文ニ付テ申上ゲタ通り、族稱ハ戶籍ノ記載ヲスル場合ニハ總テ書カナイト云フコトニナツテ居リマス、ソコデ戶主ガ華族ナリ或ハ士族デアリ、或ハ戶主ト家族ガ族稱ヲ異ニシタ場合ニノミ、此戶籍ニ記載スルトシテ、其他ハ戶主ガ平民ナル場合、家族ガ平民ナラバ書カヌト云フコトニナル、ソコデ各論ニ書カウト云フコトニナルト、戶主ガ華士族ナル場合ト云フコトハ各論カラ書カナケレバナラヌ、故ニ各論カラ省イテシマウテ、サウシテ四十七條ニ行ッテモドウ云フ工合ニ書クカ、誰ノ頭ノ處ニ書クカト云フト、ヤハリ煩雜デ餘程ムヅカシイ事デアリマスカラ、ソコデ五十四條ニ必要ナモノダケ居書ニ書ケト云フコトニシテ、此一條ノミニ依テ族稱ヲ必要ナル場合ニ書クト云フコトヲ明ニシタ主義デア

○熊谷直太君 サウスルト此出生カラ各居書ニ付テハ一寸一覽シタ所ニ依ルト、族稱ト云フモノハ殆ド書カヌコトニナルノデスナ

○司法省參事官(山内確三郎君) 六十九條ノ各論ニ書イデアリマセヌガ、即チ總則ノ五十四條ガ各居出ニ適用ガアツテ、結局必要ナル場合ハ書カナケレバナラヌト云フコトニナル

○熊谷直太君 サウナリマス戸籍ニ記載スベキ事項ヲ明瞭ナラシムル爲ニ必要ナルモノハ之ヲ記載スルコトヲ要スルト云フト、市町村長ノ勝手ニ入ル、コトハ相成ル譯デスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) サウデアリマセヌデ、即チ十八條ノ三號デ戶主ガ華族又ハ士族ナル時ハ其族稱、及第四號ニ於テ家族ガ戶主ト族稱ヲ異ニスル時ハ其族稱、是ダケガ戶籍ニ記載スベキ必要事項トナツテ居ル、此ノ戶籍ノ記載ヲスル爲ニ各居書ニ於テ之ヲ明ニシナケレバナラヌト云フコトニナルノデス

○島田俊雄君 併ナガラ今ノ御説ノ様デアリマス、此條文ハ大部分要ラヌヤウニナツテシマウト云フノハ、サウ云フ事デアレバ前ノ十八條ノ五號等ニハ出生ノ年月日ト云フヤウナコトモ書ケト云フコトガアル、大抵ノ事ハ前ニ出テ居ルノデアル、ケレドモ茲ニ届出人ガ届出書ニ書クベキ要件トシテ書ク場合ニ、斯ウ云フ他ノ事柄ヲ舉ゲタ以上ハ、ヤハリ族稱ト云フモノヲヤルガ必要デア、市町村長ノ自由裁量ニ委セナイ、或モノハ委セテモ委セラレナイ場合ガアルト云フノデアレバ、ヤハリ此ニ舉ゲテ置カナケレバ行カヌヤウニ考ヘ

ラレマスガ、如何デセウ

○司法省參事官(山内確三郎君) 各條文ニテ書クコトが簡略ニ出來レバ宜シウゴザイマスガ、全ク書クコトが吾々一編觸ツテ見ルト非常ニ難シクナル、例ヘバ子が出生シタ時ノ出生届、此出生届ニ族稱ヲ書ク必要ガアルコト云フト、出生者ノ父ノ家ニ入ッテ父ノ族稱ヲ冒スモノデアリマスカラ、出生届ニ於テハ子ノ族稱ハ書ク必要ハナイダラウ、ソレカラ結婚ノ場合ハドウナルカト、云フトコトニナルト非常ニ難シクナル、ノミナラズ前ニモ申シマシタ通り、而モ其族稱ヲ必要トシタ場合ニ於テモ、書クノハ士族ノ戸主ト華族ノ戸主ト、モウ一ツハ戸主ト家族ガ族稱ヲ異ニシタ時ニ限ルト云フヤウナ事ヲ一々書クコトハ甚ダ面倒ニナル、ノミナラズ五十四條ハ族稱ニ付テハ一ノ手續デアリマスカラ、戸籍ノ續柄ヲ必要トスル子ト父ノ續キ合、或ハ長子ナリヤ、次男ナリヤ、或ハ庶子ナリヤト云フヤウナ事モ、届トシテ明ニシナケレバナラス、其他斯ウ云フ難多ノ事ガアッテ、現行戸籍法ニハ所々ニ書イテアルガ、非常ニ脱ケテ居ルノ嫌疑ガ起ル、サウ云フ細カイ事マデ書クコトが困難アル、而モ書イテモ遺漏ノ虞ガアル場合ガアリマスカラシテ、此五十四條ニ特ニ一括シテ此規定ヲシタ、ソコデ出生届其他ノ事項ノ時ニ、十八條ノ理論カラ言ヘバ書カヌデモ宜イヤウニナリマスケレドモ、唯此ニ問題ニナリマシタ十八條ノ終ノ身分、此身分關係ヲ定ムルコトハ届書ニ依ラナケレバナラスカラ、其届書ニハ大體ドシナ事ヲ書クコト云フ要項ヲ書イテ、若シ脱ケタモノハ五十四條ヲ補ハウ、言ハズルイト申シテモ宜イカモ知レマセヌガ、ドウモ斯ウセヌト實際取扱上、此處テ脱ケタ此處テ餘計ナ事ヲ書イタト云フコトガ屢々起ッテ困ル

○島田俊雄君 モウタツ一ツ是ニ付テ何ヘバ自分ダケハ満足スルト思ヒマスガ、サウスルト今山内君ノ御説ノヤウニスルト、第四號ニ届出人届出事件ノ本人、及ビ其本人ノ父母ノ族稱及職業ト斯ウ云フ風ニシテ、族稱ヲ入レテハイケンイト云フ特別ノ理由ガアリマスガ

○司法省參事官(山内確三郎君) 今チヨット申シマシタ、假リニ出生届、此出生届ニ就テ戸籍ノ記載ヲシヤウトスル時ニ、四十七條ノ四號ニ書イテシマウト、ヤハリ父ノ族稱ヲ書カナケレバナラス、所ガ父ノ族稱ハ戸籍ニ分ッテ居ルノデ、而モ出生届ニ依ッテ更ニ再ビ書クコトハ要ラナイ、又子ノ族稱ハ父ト同一ニナルカラ、例ヘバ四號ニ族稱ト云フコトヲ書イテ出生届ニ族稱ヲ明ニセイト云フトコトニナルト、是ハ一ノ煩雜ナル無用ノ事ヲシナケレバナラスト云フ結果ニナル、ソレデ總テノ届書ニ通ズル四十七條ノ四號ノ中ニ書クコト云フトハチヨットマツクナル事ニナル

○麓純義君 私モ第一節デ四ツ質問ガシタイデスガ、第一ハ現行法四十二條ノ第二項ヲ削除サレタ理由ガ少シ分リマセヌ、

○司法省參事官(山内確三郎君) 此四十二條ハ身分登記ニ關スル届出ト云フトコトニナッテ居リマス、而シテ二項ノ届出人ガ本籍ヲ有セザル時ハ云々ト云フノハ、例ヘバ外國人デアル、外國人ハ本籍ハ有シテ居ナイ、其者ガ身分登記ノ届出ラシタ時ニ、非本籍人トシテ身分登記ラスルカ、本籍人トシテ身分登記ラスルカト云フト、非本籍人ニアラズ、又本籍人デモナイコトニナル、デ外國人ノ分ハオカシナ規定デ、本籍人トシテ本籍簿ニ登記スル、所ガ今日ハ身分登記法ヲ廢シテ、外國人ニ付テ身分登記ヲシナイト云フ

コトニナリマスカラ、外國人ヲ本籍人トシテ認ムル必要ハナクナツタ、無クナツタノミナラズ惡イト云フトコトニナリマスカラ、其結果結局四十二條ノ二項ト云フモノハ削ラナケレバナラスト云フトコトニナル

○麓純義君 サウスルト本籍ノ無イ者ガ届出タ場合ハドウスル

○司法省參事官(山内確三郎君) 本籍ノ無イ者ガ戸籍ノ届出ヲ致シタ時ニハ、先ヅ戸籍ノ記載ハセズニ置テ、サウシテ本籍ガ明カナツタ場合ニ始メテ本籍ノ戸籍ノ記載ヲ五十二條ニ依テ届ケサセ、前ノ規定デ届出ヲ整理ラスルト云フ規定デアリマス

○麓純義君 第一ハ分リマシタ、第二點ハ四十七條第一項四號届出人届出事件ノ本人及ビ其本人ノ父母ノ職業、父母ノ氏名ハ要ラノデスガ

○司法省參事官(山内確三郎君) 是ハ統計ノ關係デ、實ハ戸籍ヲ利用致シマシテ——今日デハ身分登記ヲ利用シテ、將來ニ於テモ戸籍ノ届出ヲ利用シテ統計局ニ於テ統計ヲ作ッテ居リマスモノハ、死亡統計、ソレカラ出生統計、婚姻統計、離婚統計、其ノ四ツダケデ、其届出當時ノ職業ニ基イテ調査スルト云フコトニナッテ居ル、其以外ノ關係ニハ統計局デ利用致シテ居ラナイ、ソレデ父母ノ職業ト書キマシタガ、諸父母ノ姓名ハドウダト云フヤウナ問題ニナリマス、詰リ各論ニハ父母ノ姓名ガ必要アル、又ハ父母ノ姓名ヲ書クコト云フヤウナコトハ別ニナリマス、單ニ統計ノ問題デ出生死亡婚姻離婚ノ戸籍ニ依テ統計ヲ作ルニ職業ヲ書ク必要ガアリマスガ、其以外ニハ各論ノ方デ處分スルコトニナリマス

○麓純義君 總テノ届出ニ全部記載シナケレバナラスト云フヤウニ、各條ハ各條トシテハ……

○司法省參事官(山内確三郎君) 届出事件ノ本人ニシロ、普通姓名ヲ必要トスルト云フ議論ガアリ、届出人ノ本籍ヲ明ニスルト云フヤウナコトニ關係スル、例ヘバ四十七條ノ三號ニ届出人ノ出生ノ年月日、及本籍マデ書イテ名前モ書イテ、ソレカラ届出事件ノ異ナツタ時ハ四十八條デ明ニ各其一部分ヲ書クコトニナッテ居ル、ソレガ婚姻アラバ其當事者ノ雙方ノ必要ナル部分モ總テ書イテアリマス、届出事件ノ本人ノ姓名及其他ノコトハ四十七條ノ本文及三號ニ附加ヘテ書イテアリマス

○島田俊雄君 今ノニ付テヤハリ其所ニ疑問ガアリマス、統計材料トシテ婚姻出生死亡離婚ト云フヤウナ必要ナ届出ヲサヘルト云フ御話デアリマスガ、ソレデアレバヤハリ此所ヘ職業ト云フモノヲ書イテ、届出事件ノ本人ノ父母ノ職業ト云フモノヲドノ届書ヘデモ書ク必要ト云フモノハナイト思ヒマスガ

○司法省參事官(山内確三郎君) 御尋ハ御尤ナコトデアリマスガ、出生ノ所、婚姻離婚ノ所、死亡ノ所ダケニスルト云フトハ如何ニモオカシイヤウニナルカラ、多少ノ手數ハアルケレドモ、四十七條ノ四項ニ之ヲ規定シテ置イタナラバ、無用ナモノモアルカ知レマセヌガ、之ヲ以テ統計ノ材料ト云フモノニスルノデ、之ヲ戸籍ニ現ハスヨリハ、ヤハリ是ハ一定ノ先ヅ本人ヲ明ニスルト云フヤウナ意味ニモ解釋モ出來ルデアリマス

○島田俊雄君 サウスルト統計材料ト云フトコトニスルニハ職業ヲ記ストカ其他ノコトデ其點ニ付テ矛盾ガアルト、ソレカラ今山内君カラノ御説明ノヤウデアリマスレバ、ヤハリ族稱ニ付テモ同ジコトデ、何ヲ現シテモ一向差支ナイト云フトモ前カラ言ハレテアル、是カ

ラ先キハ議論ニナリマスカラ、其點ニ就テハ先づ御説明ハ不十分ト認メテ置キマス同時ニ、此事ニ就テモウ一層戸籍法制定ニ就テ統計材料云々ト云フコトガゴザイマスガ、此貴重ノ場合ニ統計局ノ當事者ノ中テ實務ノコトニ與カテ居ルハトカ、或ハ課長トカ云フモノ、中デ、サウ云フ人ニ來テ貰ッテ十分御審議ガアツタデゴザイマセウカ

○司法省參事官(山内隆三郎君) ソレハアリマス、段々此問題ガ起ツタ爲ニ、統計局長ノ花房法學博士ト私ト相談致シマシタ結果、是ダケノモノヲ二ツ纏メタノデゴザイマス

○島田俊雄君 ソレデハ其統計ノコトニ就テ委員長ニ御願シテ——イヤ諸君ニ御諮リシテ見タイノデアリマスガ、此統計ノコトハ私ハ少シ嚙ミテ居ル爲ニ、根掘リ葉掘リ問フノ御面倒デアリマセウガ、是ハ統計上ニ重要ナ關係ヲ持ツコトデアリマスカラ、唯今ノ花房君モ御相談ニ與ツタコトデアルカラ、其時期ハ何デモ宜シイガ、一度統計關係ヲ此戸籍法ノ中ニ入レテヤルト云フコトニ就テノ統計局長ノ説明ヲ聞クト云フコトガ出來レバ大變仕合セト思ヒマス、ドウモ私ハ自分ノ考ハサウ云フコトガモウ少シ十分デナケレバ、統計關係ヲ全部削除シタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、統計局ノ注文ト云フコトデアレバ、其方ノ人ガ政府委員トナッテ居ルカドウカ知リマセヌガ、一遍此會ニ出ル機會ヲ作ッテ戴キタイ

○委員長(長島鷲太郎君) スウ願ヒマセウ、既ニ司法省ノ提案デアリマスカラ、統計局ノ人ヲ喚ブノハ司法省カラ交渉ニナラヌトイカヌト思ヒマスガ、或ハ内閣ノ法制局長ノ方カラ其事ヲ交渉シテ戴キタイ

○島田俊雄君 後トテ宜シイガ、其事ヲ御願シタイ

○委員長(長島鷲太郎君) 其事ハ留保スルコトニシマス

○島田俊雄君 サウ云フコトガ出來マスレバ、此點ニ就テハ質問シマセヌ

○委員長(長島鷲太郎君) 外ニ質問アリマセヌケレバ……

○龍純義君 私モ留保シマス

○島田俊雄君 第五十二條デアリマスガ、此但書ニ「市町村長ハ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル居書ヲ受理スルコトヲ得ス」ト云フコトガゴザイマスガ、此場合ニ五十三條通りニシナカッタ結果、之ニ對スル記載法デス、受理シナイト云フコトニナルト、先程三十九條デスカ何條デスカアノ規定ニ背イタモノハ受理シナイト云フト、其救済方法ハ何所ニアリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 重要ト認メル事項ヲ記載セザル居書ハ市町村長ハ却下シマス、サウシテ其點ヲ記載シテ再ビ居出デマスレバソレデ宜シイシ、若シソレヲ居ケナケレバ先程述べマシタ通りノ處分ヲスルト云フコトモゴザイマセウガ、其期間ノアル問題デアリマスカラ、ソレハ免レヌト云フコトニナリマス

○島田俊雄君 サウデスカ、ソレカラ第六十五條デスはハ「追完」ト云フ字デアリマス、是ハ法文ノ用語トシテ私ハ寡聞ニシテ初メテ見ルノデアリマスガ、斯ウ云フ字ヲ他ニ用井タ例ガアリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 民事訴訟法等ニモアル積リデアリマス

○委員長(長島鷲太郎君) 第二節ニ移リマス、是ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 第二節ハ大體ニ於キマシテ現行法ト異ナル

トコロハゴザイマセヌ、唯僅ニ七十九條ニ於テ先程述べマシタル期間ノ三箇月ヲ一箇月ニ改メマシタコト、ソレカラ七十八條ニ於テ、七十八條ハ現行法ノ七十五條ニ該當スル條文デアリマスガ、現行法ノ七十五條ニ依レバ棄兒ヲ發見シタ者ガ戸籍吏ニ居出ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、概ネ棄兒ヲ發見スレバ警察官ヘ申出ル、斯ウ云フコトガ多カラウカラシテ、警察官カラ申出ノ途ヲ開クガ必要デアラウト云フ趣意ニ基キ、棄兒發見者カラ申出ガ出來ルシ、又棄兒發見ノ申告ヲ受ケタル警察官カラモ申出ルコトガ出來ルト云フコトニ改メマシタコト、ソレカラ現行法ノ七十五條ニハ居出義務ヲ命ジテアッテ、「居出ヲ要ス」即チ居出ル者ガ居出ナケレバ制裁ヲ受ケルコトニナッテ居ルガ、ドウモ棄兒發見ノ場合ニ居出義務懈怠トシテ制裁ヲ加フルハ洵ニ酷デアラウト云フノデ、「居出」ノ文字ヲ改メマシテ「申出ツル」ト云フコトニ致シタデアリマス、大體本節ニ於テ改正ヲ加ヘマシタノハソレデケデアリマス

○齋藤隆夫君 七十八條ノ第二項ニ「前項ノ申出アリタルトキハ市町村長ハ氏名ヲ命シ本籍ヲ定メ」云々トアル、此本籍ハドウ云フ標準ニ依ッテ定メルノデアリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 別段市町村長ガ本籍ヲ定メル標準ト云フモノモアリマセヌガ、發見シタ場所位ヲ本籍ニスルコトニナラウト思ヒマス

○島田俊雄君 此本籍ヲ定メルト云フコトハ市町村長ノ職權ヲ定メ、從ッテ戸籍市町村長ガ造ルノデアリマセウガ、サウ云フ場合ハ斯ウ云フヤウニヤルホカアリマセヌカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 左様デス

○委員長(長島鷲太郎君) 第二節ニ移リマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 第三節ニ付テ申シマスレバ、先ヅ八十三條デアリマス、八十三條ノコトニ付キマシテハ過般説明致シテ置キマスガ、庶子出生ノ居出ヲナセバ、更ニ改メテ認知居出ヲ出サイデモ出生届一本ヲ認知居出效力ヲ包含スル、斯ウ云フ便利ヲ計ツタノデアリマス、是ハ出生ノ一本ノ居出デ、二二ノ居出手續ヲ省クト云フ精神カラ此條項ヲ設ケマシタ、次ハ八十四條、是モ新設ノ條文デアリマスシテ、認知裁判ガ確定スレバ、其訴ヲ提起シタ者カラ認知居出サセルト云フ條文デ、是ハ現行法ニアリマセヌカラソレヲ補ツタノデアリマス、ソレカラ八十六條アル、此八十六條ハ現行法ノ八十四條ニ該當スルノデ、唯期間一箇月ガ十四日ニ短縮サレタケデアリマス、ソレカラ八十七條、是ハ新設條文デアリマスシテ、御承知ノ通り認知行爲ト云フモノハ自身行爲デアッデ、自カラ爲サナケレバナラヌ行爲デアリマスカラ、五十七條三項ノ代理ヲ以テ出スコトヲ許サヌト云フ事柄ヲ明カニシタ、ソレデケデアリマス

○島田俊雄君 茲ニ至ッテチヨット御説明ヲ願ヒタイガ、八十一條ノ一號ニ「子ノ氏名」トアリマス、ソレヲ六十九條ノ第二項第一號ニ對照シテ、此處ニハ「子ノ名」トアッテ氏ト云フ字ガ削テアリマス、ソレカラ又先刻何方カノ御質問ニ對スル第十八條ノ第一號ノ「戸主前戸主及家族ノ氏名」ト云フ文字、此三ヲ對照スルト十八條ニ於テ御説明ニナリマシタノト矛盾シテ、少シク分ラヌカト思ヒマスガ、此點ニ付テ政府委員ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 十八條ノ氏名ニ付テハ先刻申上ゲマシタ通りデ、六十九條ノハ是ハ出生届デ、未ダ何レノ家族ニモ入ッテ居ラヌ、而シテ出生届

ハ父ガ爲スガ本則デ、父ノ家ニ入ルガ本則デアル以上、父ノ氏ト同シテアルカラ此處ニハ氏ヲ書カナカッタノデアリマス、八十一條ノ認知届ニハ出生届ガ認知届ト違フト母ノ氏ヲ稱シテ居ルノデ、認知者ノ氏ト違フコトガアル、ソレガ故ニ子ノ氏ヲ示ス、斯ウ云フコトデアリマス

○島田俊雄君 ソレハ分ッテ居ル、讀シテ字ノ如クデアルガ、此ニツラ一方ニハ必要ガナイカラ氏ヲ除ク例ガアル以上ニハ、此家族ノ氏名ニ付テモ戸主ノ氏名ガアル以上、家族ノ場合ハ氏ガ要ラヌノデアッテ、斯ウ區別スル必要ハナイト思フ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ御尤デアリマスガ、十八條ノトコロノ氏ヲ除キマスルト云フト、諸般ノトコロノ關係ニ於キマシテ、ヤハリ皆ナ氏ヲ除カナケレバナラヌ、ソコデ又此ハ氏ヲ除クコトガ出來ナイ場合ガアル、ソレ故ニ先程申シタ通り、實際ノ取扱ニ家族ノ頭ニ氏ハアリマセヌガ、戸主ノ冒頭ノ所ノ上ニ氏ヲ書イテ置キマスカラ、其處デ書イタモノト同ジニ見テ行ク、斯ウ云フコトデアルノデアリマス、十八條ノ方ハ——ソレカラ届書ノ方ニ付キマシテハ、庶子認知ノ届書デゴザイマスルカラ、家が違ッテ居ルコトガアルカラ氏モ必要デアリマス

○島田俊雄君 私ノ質問ノ目的ヲ申上ケテ見タイト思フ、私ノ質問ノ目的ハ第十八條ニ於テサウ云フコトヲ御説明ニナッテ居ルカラ、六十九條ハ成程氏ヲ除イテモ宜イ理由ハアルケレドモ、私ハ氏名トシテ氏ヲ入レテ置イテ差支ナイノデアラウト云フコトヲ主張シタイノデスガ、外ニ氏ヲ除イタトコロガアリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 外ニハナイト思ヒマス

○加瀬禰逸君 八十四條、八十五條ノ十日ノ期間ハ、出生ノ方ガ十四日ニナッテ居ルカラ十四日トシテモ宜シイト思フガ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 之ハ裁判確定問題デゴザイマスカラ、先ヅ裁判確定後十日ト云フコトニ全部ナッテ居リマス

○加瀬禰逸君 上告ナドデ裁判ノ確定シタ時日ノ知レヌコトガアル

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 上告ノヤウナ場合ニ於テハ正本謄本ノ送達ヲ受ケタル時カラ期間ヲ起算スルコトニ六十二條ノ二項デナッテ居リマスカラ知レルコトニナッテ居リマス

○加瀬禰逸君 分リマシタ

○委員長(長島鸛太郎君) 第四節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 本節ニ付キマシテ改正ヲ加ヘマシタノハ九十條デゴザイマス、九十條ハ現行法ノ八十六條ニ該當致シマスル「承諾ヲ爲シタル者之ヲ爲スコトヲ要ス」ト云フノヲ「爲スコトヲ得」ト云フコトニ變ヘタ點ト、ソレカラ九十三條ノ裁判確定ノ日ヨリ十日以内ト云フノガ現行法ノ九十二條ニ據リマスルト一箇月トナッテ居リマス、之ヲ變ヘマシタ、是デケデゴザイマス

(「質問ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長島鸛太郎君) 第五節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 第五節ニ於キマシテ改正ヲ致シマシタノハ九十五條ノ五號デゴザイマス、之ハ現行法ノヤハリ九十五條ニ該ルノデアリマスガ、「養子カ

復歸スヘキ家ナキトキハ其事由」ト云フ事柄ガ九十五條ノ八ニアリマスルノデ、案ニ於キマシテハ「養子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因竝ニ場所」ト云フコトヲ置キマシタノハ、養子ニ述ベマシタル復籍拒絶ト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、直グ此處デ分ッテ居リマスレバ、離縁届ヲ出サセル場合ニ直グ一家ノ創立ヲセネバナラヌモノデアルト云フコトガ分リマスカラ、其便利ノタメニ此ニ置キマシタノト、ソレカラ次ハ九十六條、是モ現行法ノ九十六條ト略同ジコトデゴザイマス、唯協議ヲ爲シタル者ハ之ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニシタ、ソレデケデゴザイマス、其他改正致シタトコロハゴザイマセヌ

(「無シ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長島鸛太郎君) 第六節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 第六節ニ於テ改正ヲ加ヘマシタノハ唯僅ニ第一百條ノ五號デゴザイマス、入夫婚姻ノ場合ニ於キマシテ現行法ハ百一條ニ規定シテアリマスルガ、入夫ガ戸主トナラザルトキハ其旨ヲ書ケト云フコトニナッテ居ル、案ニ於キマシテ入夫ノ戸主トナッタトキニハ其旨ヲ書ケト云フ反對規定ニシタ次第ハ、入夫婚姻届デ戸主ニナッタ場合デ入夫ガ戸主トナッタ場合デアリマスルト、更ニ家督相續ノ届出ヲ爲サシメナイデ、入夫婚姻届一本ニ依ッテ入籍ノ手續ヲ爲サシメル簡略方法ヲ採ランガタメニ、入夫ガ戸主トナッタナラバ戸主トナッタ旨ヲ書イテ置ケト云フコトニ致シマシタノデアリマス、之ハ百二十五條ノ但書「入夫婚姻ニ因リテ戸主ト爲リタル者ハ此限ニ在ラス」ト云フ條文ト相俟ッテ活用セシメル目的ニ出デタノデアリマス、本節ニ於テ申上ゲルコトハ、ソレデケデゴザイマス

(「無シ」ト呼フ者アリ)

○加瀬禰逸君 入夫婚姻ノ場合デ戸主トナラヌコトガゴザイマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 特別ノ意思表示ヲ致シマスレバ入夫ハ戸主トナリマセヌ、家督相續ニナリマセヌ

(「無シ」ト呼フ者アリ)

○委員長(長島鸛太郎君) 第七節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 第七節ニ於キマシテハ、ヤハリ百四條ノ五デゴザイマス、之ハ先程九十五條ノ五ニ於テ申上ゲタト同ジ趣旨ニ依ッテ、一家ヲ創立スル場合ニ於テハ云々ノ規定ヲ置イタノデアリマス、其他改正ヲ加ヘタ點ハゴザイマセヌ

○委員長(長島鸛太郎君) 第八節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 第八節ニ於キマシテハ、百七條、百八條ガ新設ノ條文デアリマス、之ハ現行法ハ後見バカリノコトデアリマシテ、親權喪失ノ場合ガ規定シテゴザイマセヌ、父カ親權又ハ管理權ヲ喪失シタル場合ニ於テハ母ガ代表者ニナリマスカラ、其代表者ヲ公示セシメタメニ百七條、百八條ヲ置クニ至ッタ次第デゴザイマス、母ガ然ラバ親權ヲ失ヒ、財產管理權ヲ失ッタナラバドウナルカト申シマスルト、母ガ代表權ヲ失ヒマスレバ、無論後見ガ開始スレバ後見ノ届ガアリマスカラ、ソレデ宜イ、斯ウ云フ譯デ百七條百八條デケハ、設ケマシタ、ソレカラ第百十四條ノ新設條文、是ハ保佐人ヲ設ケマシタ結果、當然ノ結果デアリマス、ソレヨリ他ニ本節ニハ改正ヲ加ヘタコトハゴザイマセヌ

○委員長(長島鷲太郎君) 第九節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 九節ニハ何等改正ヲ加ヘマセヌ

○委員長(長島鷲太郎君) 十節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 十節ニハ第一百九條アリマス、第一百九條ハ現行ノ第三百三十一條ニ略シテ、現行法ニ據リマス、難破船ガケガ規定シテアリマシテ、此地震トカ、或ハ火災トカ、其他船舶ガ難破シナイデモ、乗組員其他ノ客ガ死亡スルヤウナコトガアリマシテ、今日ノ有様デ一々失踪手續ニ依テ二年トカ七年ヲ待タナケレバナラヌ、ソレヲ待ツコトノ煩累ヲ避クルタメ、市町村長取締官廳ノ報告ニ依テ、死亡ノ始末ヲ付ケル便利ヲ開カンガタメニ本條ヲ設ケマシテ、ソレカラ第百二十四條ニ於キマシテ、是ハ現行法ノ第百二十三條ニ該當シマス、此百二十四條ノ屆書ニ記載スベキ事項ノ第二アリマス、御承知ノ通り民法ニ依テ失踪宣告ノ効力ガ期間満了ニ於テ死亡ノ効力ヲ生ゼシムルノデアリマシテ、失踪宣告裁判ノ日ニ於テ死亡ノ効力ヲ生ズルモノデアリマセヌ、其故ニ現行法ニ裁判宣告ノ日ヲ掲ゲルト云フコトニナッテ居リマスガ、其方ハ必要ナカラウト云フノデ斯ク改メタノデアリマス

○熊谷直太君 第一百九條アリマスガ、本條ニ依テ死亡シタト云フコトガ確ニ死亡シタト云フコトヲ認メナクテモ、屍體ガアル場合ハ論ガナイト思フ、死體ガ分ラヌ時デモ處分ノ附ケヤウガアルデセウカ無イデセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 實際ノ適用ハ屍體發見ノ出來ナイ場合ガ多カラウト思ヒマス

○島田俊雄君 死亡ノ所ヲ聽キタイ、是ハ死亡イタシマスレバ埋葬スルガ目的デアリマス、其埋葬ノ關係カラ警察ノ方ノ仕事ト交渉ヲ生ズル譯デアリマスガ、其等ノ事ガ日限トカ、ア、云フヤウナ點ニ付テ交渉スル場合ガアラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ何カ説明ヲ聽イテ置クコトハナイデアリマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 御承知ノ通り今日ニ於キマシテハ死亡居ラ出レマス警察官ガ、何ト申シマスカ檢案ト申シマスカ見ニ參リマス、見ニ來ルト云フコトガアリマスケレドモ、其他ニ付テ警察官ガ日限ノコトニ付テ是非トモ此五日デハ困ルトカ云フヤウナコトハナカラウト思フデス、唯流行病ナドニ付キマシテ五日置ケナイトカ何トカ云フヤウナコトハ警察法規ノ上ニアルヤウデス、併ナガラア、云フ傳染病トカ何トカ云フモノニ付テハ、普通埋葬方式ヲ許サヌコトニナッテ居リマス、先ヅソレハ差支ナイデセウ

○熊谷直太君 尙此百十九條ニ付テ御聽キシタイ、死亡シテ屍體ヲ見ナイ場合ハ明ラカニ認定ハ出來マイト思フ、ソレデ民法ノ失踪ノ場合、民法ノ二十七條ノ規定ノ工合ハ、其關係ハドウナルデアラウカ、戸籍吏ガ死亡シタモノトシテ、サウシテ屍體ガ分ラヌケレバ死亡シタモノトシテ取調ヲシタ結果、受取ッタ戸籍簿ニ登記スルコトガ出來マセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 詰リ取締官廳、取締公署ニ其取調ヲ法律ハ責任ヲ負ハシメマシテ、死亡居書各個人ノナス所ノ死亡居書ニ代テ、法律上ニ基キ市町村長ノ手續ガ出來ルノデアリマス

○島田俊雄君 其取調ヲナス官廳若クハ公署ハドウ云フ權限ノ下ニヤルノデアリマセウ

カ、或ハ警察トカ官廳トカ單ニ止ムナクシテ或ル事實ヲ取調ベルト云フヤウナ簡單ナル關係カラ取調ベルノデアリマセウカ、或ハ一種ノ權限ニ基テ取調ベルノデアリマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 例ヘバ軍艦デ申シマスレバ、艦長等ガソレヲ調ベマシテ、先ヅ死亡ノ十分推定ノ出來ルヤウナ事實ガアル場合ハ、死亡報告ヲナスコトニナラウト思ヒマスカラ、ソレハ杜撰ニ暴風ガアッテ直グ死シタノダラウト推定サレテハ困リマスガ、ソレハ悉ク嚴重ナル綿密ナル調査ニ基テ調査スベキモノデアルト思ヒマス

○熊谷直太君 少シ議論ニナリマスガ、民法ノ死亡者ヲ推定スルト云フムツカシイ規定ヲシタ精神ニ此條文ハ反對シナイデアリマセウカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 是ハ別段民法ノ失踪ノ規定ヲ變ヘルト云フ問題デアリマセヌ、生死不明ノ場合ハ初メテ失踪トナリマスノデ、生死不明ノ場合、百十九條ヲ適用シヤウト云フノデアリマセヌ、唯普通屍體ガ揚ラヌケレドモ死亡ト認メテ居ラヌヤウデアリマス、居ラヌガ、併ナガラ明カニ死シタト云フコトガ生死不明デナイ、死ガ明カニナル場合ニ於テモ、尙失踪ノ宣告ヲシナケレバナラヌト云フ譯デナカラウト思フ、ソレデ現行法ナクテモ明カニ死シタ場合ト認定スルコトガ出來ル場合ガアルダラウト思フ、ソレデ現行法ノ下ニ屍體ガ揚ラナケレバナラヌト云フコトガアリマセヌ、アリマセヌガ、其認定ヲ警察官廳ナリ取締公署ガ如何ニシテ認定スルカト云フコトハ、之ニ改メテ積リデアリマセヌシ、今日實際ニ於テ屍體ガ揚ラヌト云フコトハ、官廳ノ考次第デ、別ニ百五十九條ハ屍體ガ揚ラヌト云フコトヲ區別シタノデアリマセヌ、現行ノ船難ノ場合ニナッテ居ルノ、火災ノ場合或ハ戦争ノ場合引付ケルタメ百十九條ハ規定イタシマシタノデ、生死ノ推定ニ關シテ別段變更ハ加ヘナイ積リデアリマス

○野村嘉六君 今熊谷君ノ問ハレタノハ實際ノ死ニナッタ場合デアリマスガ、屍體ガ揚レバ官廳ニ於テモ公署ニ於テモ屍體ヲ見テ、サウシテ死亡報告ヲスルノガ當然デアリマスガ、屍體ガ揚ラヌ時ニ此報告ヲ拵ヘテ置イテモ、所謂認定スベキ官廳又ハ公署デス、之ガ認定セナケレバ仕方ガナシ、又認定スルダケノ職權ガナケレバ仕方ガナイコトニナリハセヌカト思ヒマス、ソレハ此法律ノ結果ニ依ッテ、或ハ警察トカ又ハ其他ニ向ッテサウシテ何カ認定權デモ與ヘル考デアリマスガ、ドウ云フ御考デアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ官廳公署ト申シマスノハ、詰リ水難ニ依レバ水難ヲ取調ベルヤウナ官廳ガアリマスシ、火災其他ノ事變等ニ依ッテ事變々々ニ依テ取調官廳ガ違ヒマスカラ、ソレ等ノ官廳ガ職權ヲ以テ取調ベタ場合ヲ云フノデアリマ

○島田俊雄君 百十九條ニ付テデアリマスガ、御説明ハ大ニ御尤ナ所ガアルヤウニ思ヒマスガ、ドウモ成程火事ナドハ屍體ガ何處ニ在ルカ分ラヌヤウニナッテ、屍體ヲ見付ケ出スコトガ出來ヌケレドモ、死シタト云フコトノ推定ノ十分出來ル場合モアラウト思ヒマス、併ナガラ茲ニ斯ウ云フ新條文ヲ拵ヘテ置イタ場合ニハ、其反面ノ弊害ト云フモノモ随分恐ロシイモノガアル場合ガアツタリ、或ハ繁雜ナル關係ヲ是ガタメ惹起スト云フコトハ、此報告ノタメニ惹起スルコトガアリハセシカト思ヒマスガ、此條文ハ新設ト云フコトデアリマシタガ、是ガナケレバ餘程不便ヲ感ズル場合ガアルノデアリマスガ、斯ウ云フコトガナクテ百十六條ト失踪ノ制度トノ兩方ニ依テ之ヲ救済スルト云フコトハ出來ヌノデアリマセウカ

○島田俊雄君 其取調ヲナス官廳若クハ公署ハドウ云フ權限ノ下ニヤルノデアリマセウ



○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 此條文ハ正面カラシテ民法ノ失踪宣告制度ト云フモノヲ、抹殺スルモノデナイト云フコトハ勿論デアリマスガ、生死不明ノモノデモ今日ニ於キマシテ、失踪宣告ラズレバ片ノ付クヲシナイノガ澤山アル、ソレハ入費ノ掛ルト云フコトデシナイ、況シテ失踪ハ明デアルト云フ一般ノ推定カラ見マシテ分ルヤウナ場合ニモ、尙且生死不明トシテ、或ハ三年或ハ七年ノ期間ヲ待タナケレバ跡相續ヲナスコトが出来ヌトカ、諸般ノ身分關係ヲ定メルコトが出来ヌト云フヤウナコトが多クアルノデゴザイマス、其不便ヲ避ケルガためニ、此條項ヲ設ケタノデゴザイマスガ、成程唯今島田君ノ仰シヤル通り、若シソレ之ヲ濫用サレテ、茲ニ一人屍體ガアル、一人無クナッテ大抵アレガ死シタラウト云フ調子ニ作ラレテハ勿論弊害ガ起リマスガ、其報告ヲ受取ルコトヲ十分ナル監視ノ下ニ於テ取調ヲナス官廳ト云フモノモ、十二分ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、事實モウ死シタモノト推測スル、何人ガ見デモ明瞭ナル場合モアルノデゴザイマス、サウ云フ時ニモ一々失踪ノ宣告ヲ待タナケレバナラヌコトハ、誠ニ不便極ルコトト思ヒマス、一面ニ調査ヲナス官廳ガ調査シナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、今申シマス場合ニ此條文ハ働イテ大ニ便利デアラウト云フ考デス

○島田俊雄君 モウ一ツ附加ヘテ御問シテ置キマス、今ノ御説ハ私モ十分了解シテ居リマスガ、過去ノ事實ニ於テ、即チ現行法ノ百三十一條ガ之ニ相當スルデアリマスガ、過去ノ事實ニ於テ斯ウ云フ場合ニ百三十一條ノ難船等ノ場合ニ於テ、死亡ノ報告ヲシタト云フコトガ後ニ覆ヘサレタリ、其報告ノ原因ニナッテ疑獄ヲ起シタト云フコトニ付テ、何カ事實等ニ御記憶ガアルトカ、御調査ニナツタモノガアリマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 難破船ニ付キマシテ間違ノアツタト云フコトハ聞キマセヌ、唯彼ノ御承知ノ日露戰爭ノ當時ニ於キマシテ、常陸丸事件デゴザイマシタカ、彼ノ時ニ確カ死シタト云フ取扱ヲ受ケテ、現ニ金鵒勳章ヲ貰フテ恩給マデ貰フテ居ツタガ、露西亞ニ生キテ居ツタト云フ事例モアツタヤウデゴザイマシテ、ア、云フコトガ近クニ於テ事例ガアリマシタ、難破船ノ場合ニ於テ此百三十一條ノ定規中デ過失ヲ生シタト云フコトハ聞キマセヌ

○島田俊雄君 此點ニ付テハ議論ニナリマスカラ説明ヲ求メマセヌ、百十七條ノ第二ニ同居者ト云フノガアリマス、是ハ七十二條ニモアリ他ニモアルカ知リマセヌガ、アレハドウ云フヤウナ範圍ノモノデスカ、取扱トシテ随分是ハ疑問ガ起ルデアラウト思ヒマス、同居者ト云フ世帯ハ違フテ居ツテモ、一ノ所ニ場所ヲ同ジク住ンデ居ルト云フ意味ニナルノデセウカ、ドウ云フ範圍マデ言フノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 左様ニ思ヒマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 世帯ヲ同ジクシテ居ル場合ト云フコトニ取扱ツテ居ル

○島田俊雄君 世帯ガ同ジクナケレバナラヌノデスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 世帯ト云フノハ私ニ能ク分リマセヌガ、例ヘハ下宿シテ居ル下宿屋ノ主人カラスル場合、家デハ戸主ガ他出シテ居ナイト云フ場合ニ、誰カ死ヌト其母カラ居出ルト云フ範圍ニ適用シテ居ルノデス

○島田俊雄君 今ノヤウナトコロヲチヨットモウ一ツ聞イテ置キタイ、ソレハ下宿ノ方ニ下

宿屋ノ主人ガヤル場合ハ分リマスガ、下宿屋ノ主人ガ死シタトキニ其下宿人ガ報告スル義務ガアルカドウカ、又其下宿人同士デ居出ラヌ義務ガアルカドウカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 今日其居出ノ義務ハ擴張シテ居リマセヌ

○島田俊雄君 サウスルト同居者ト云フモノ、範圍ニ付テ、地方ノ町村ナドハソレ程デナイカ知リマセヌガ、大都會等ニ付テ特別ニ施行細則等ノ御規定ガナイト、義務違反ノタメイロノコトヲ生ズルコトガアラウト思ヒマスガ、サウ云フコトニ付テ何カ御規定ニナル御考デアリマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 疑義ノ多岐ニ互ル虞ノアルモノハ、訓令ニ依シテ之ヲ示スコトガアリマスガ、要スルニ同居ト云フ文字ハ今日普通ニ用ビテ居ル言葉ノ解釋ハ今迄疑義ハアリマセヌノデアリマス

○野村嘉六君 ヤハリ逆戻リシテ百十九條デスガ、此立法ハ非常ニ良イ立法デアラウト思ヒマス、島田君カラ例ヲ求メラレマシタガ、私モ實例ニ遭ツテ居ルノデスガ、丁度日露戰爭後ニ船ニ乗ツテ出テ居ルトキニ、何處ヘ行ツタカ分ラヌタメニ、死シタモノト云フコトハ分ツテ居ルケレドモ、皆其手續ト云フト、失踪宣告ノ手續ニ依ルノ外道ガナイ、ソレバ三年五年ノ長イ年月ヲ經ナケレバナラヌ、船ヲ乗出シタ所ガ分ツテ居ルガ、若イタ所ガ分ラヌ、三年五年海上ニ迷フト云フコトハナイト云フノデ、是ハ頗ル良イ規定デアリマスガ、是ガ出来テモ死シタモノト認定スル官廳トカ公署ニ對シテ、何カ特別ニ官廳公署、例ヘハ海死シタラ水上警察トカ、モウ少シ外洋ヘ往ツタラ外務省ノ關係トカ、又領事ニ對スル方法トカ云フヤウナコトニ付テ、司法省カラ認定權ニ付テ何カ訓令デモ御出シニナル考デアリマスガ、又法律ガ斯ウ出来テ居ルカラ、當然法律ヲ知ラヌ者ハアル氣遣ハナイト云フ意味ニ於テ御ヤリニナルノデアリマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 唯今ノコトハ取調ヲナスベキ官廳公署ニ訓令ヲ出ス考ヲ持ツテ居リマセヌガ、其必要ガ來レバ無論致シマス

○委員長(長島鷲太郎君) チヨット伺ヒマスガ、茲ニ現レタノハ官廳公署トアリマスガ、二十九條ニハ裁判所其他ノ檢事又ハ吏員ト斯ウナツテ居リマスガ、官廳公署又ハ吏員ト這入ラヌデ宜シイノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 是ハ役所ノ方カラ文書ヲ出シマシテ、成程三十九條ノ末項トハ文例ヲ一ニ致シマセヌガ、先ツ吏員ト云フモノガ報告スルト云フコトハ少ナイノデ、官廳名義デ報告サセル方ガ鄭重ニナラウト云フノデ、斯ウ云フニ立デタノデアリマス

○委員長(長島鷲太郎君) 第十一節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 十一節ニ付テ申上ゲマス點ハ、先程申上ゲマシタル百二十五條ノ但書ノ入夫婚姻ニ因テ戸主トナツタ場合ニハ、婚姻届ニ因ツテ家督相續ヲ爲サシムルト云フコトカラ、家督相續ヲ爲ス必要ハナイ、居出ヲ爲ス必要ハナイ、斯ウ云フコトヲ設ケマシタ、ソレカラ百二十六條ガ新設條文デアリマシテ、選定家督相續ニ付テハ選定書面ヲ添附シロ、斯ウ云フコトヲ示シタ次第デアリマス

○野村嘉六君 百二十六條ニ選定ヲ證スル書面ヲ居書ニ添附スルコトヲ要ス下アル、是ガ新シイノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 左様デゴザイマス

○委員長(長島鷲太郎君) 第十二節ニ移リマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 十二節ニハ特ニ申上ケル改正ノ點ハゴザイマセヌ

〔「ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(長島鷲太郎君) ナケレバ十二節

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 十三節ニ付テモ特ニ申上ケルコトハナイノデアリマス

〔「質問ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(長島鷲太郎君) ソレデハ是デ止メマシテ、又明日午前十時カラ開會致シマス

午後四時五十三分散會